

鎌ヶ谷市都市計画マスタープランに係る
アンケート調査結果

令和3年3月

目 次

1. 調査概要	1
1. 調査実施の目的	1
2. 調査手法	1
3. 回収結果	1
2. 基本項目	2
1. 回答者の属性(問1～問7).....	2
3. 調査結果（市全体集計）	9
1. 将来の鎌ヶ谷市のイメージについて（問8～問9）	9
2. これからのまちづくりのあるべき方向（問10～問14）	15
3. 地域の課題（問15～問20）	30

1. 調査概要

1. 調査実施の目的

この調査は、現在策定（改定）を進めている「鎌ヶ谷市都市計画マスタープラン」の検討にあたり、市民の皆さまの将来のまちづくりに対するご意見・お考えなどをお聞きし、その声を反映するために実施しました。

2. 調査手法

- (1) 調査対象者 鎌ヶ谷市内在住の18歳以上の市民を対象
- (2) 対象者数 3,000人
- (3) 対象者抽出 住民基本台帳等により抽出（6地区の人口比率から地域毎に抽出）
- (4) 配布・回収方法 郵送
- (5) 回答方式 選択式・無記名
- (6) 調査時期 令和2年12月18日送付、
令和3年1月15日締切、2月8日最終締切
- (7) 設問内容
 - ① 回答者の属性（問1～問7）
 - ② 将来の鎌ヶ谷市のイメージについて（問8～問9）
 - ③ これからのまちづくりのあるべき方向（問10～問14）
 - ④ 地域の課題（問15～問20）

3. 回収結果

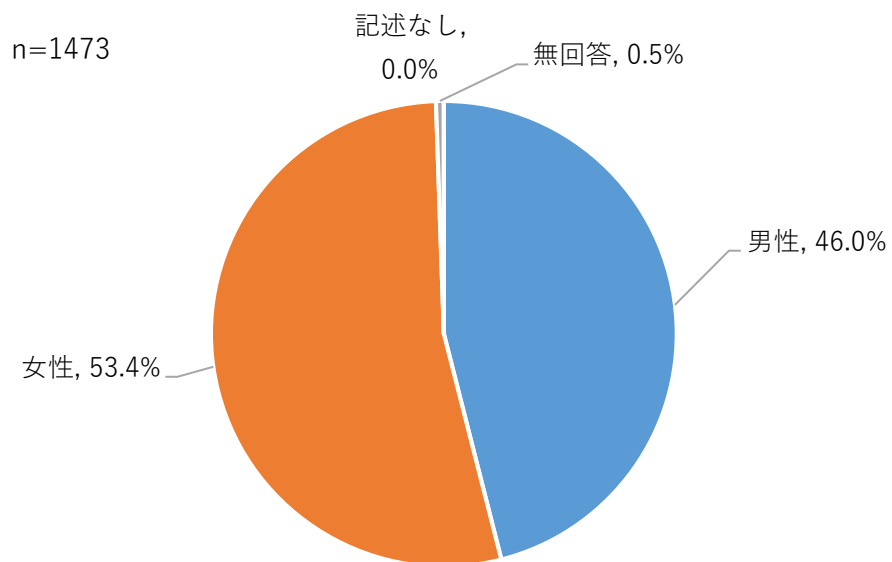
区分	票数	回収率
配付数	3,000	
回収数	1,474	49.1%
有効回収数	1,473	49.1%

地区		回答	回答率
中央地区	道野辺中央、道野辺本町、初富本町、右京塚、南初富四～六丁目、中央、富岡、初富（928～931番地）、新鎌ヶ谷	363	24.6%
中央東地区	東鎌ヶ谷、東初富、南初富一～三丁目、初富（700～927番地）	253	17.2%
東部地区	丸山、鎌ヶ谷、東道野辺二～七丁目、南鎌ヶ谷	345	23.4%
南部地区	東中沢、東道野辺一丁目、西道野辺、馬込沢、道野辺、中沢、北中沢、中沢新町	281	19.1%
西部地区	くぬぎ山、栗野（426～538番地）、佐津間（1300番地～）、串崎新田、北初富、初富（1～399番地・1300番地～）	122	8.3%
北部地区	栗野（1～425番地・539番地～）、佐津間（1～1299番地）、中佐津間、西佐津間、南佐津間、軽井沢	107	7.3%
記述なし		2	0.1%

2. 基本項目

1. 回答者の属性(問1～問7)

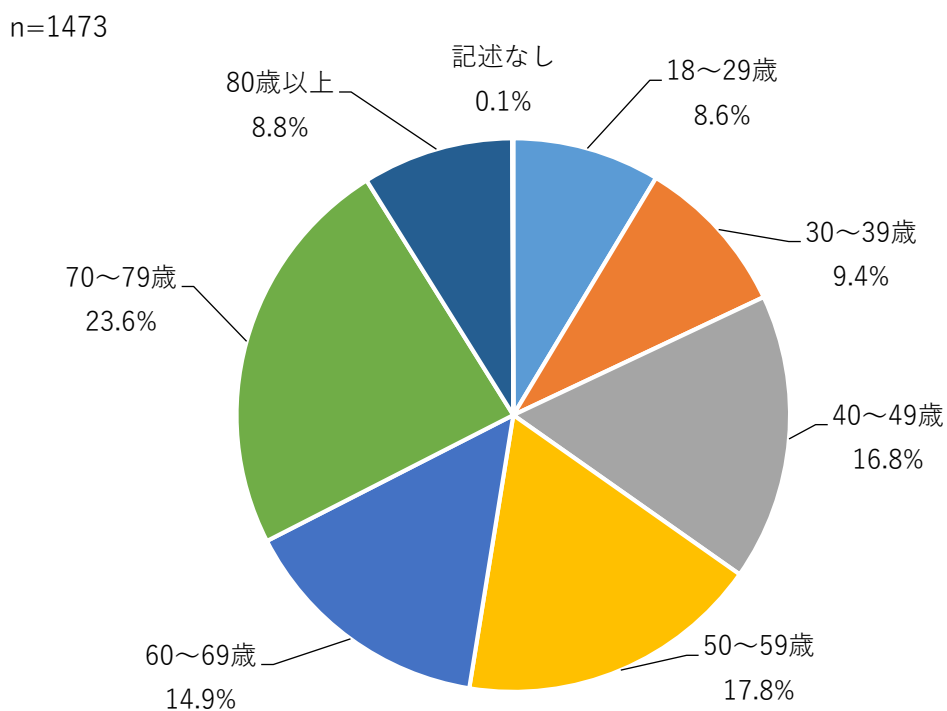
問1 あなたの性別を教えてください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	男性	678	46.0%
2	女性	787	53.4%
3	無回答	8	0.5%
4	記述なし	0	0.0%
	全体	1,473	100.0%

○「男性」が46.0%、「女性」53.4%、「無回答」が0.5%となっています。

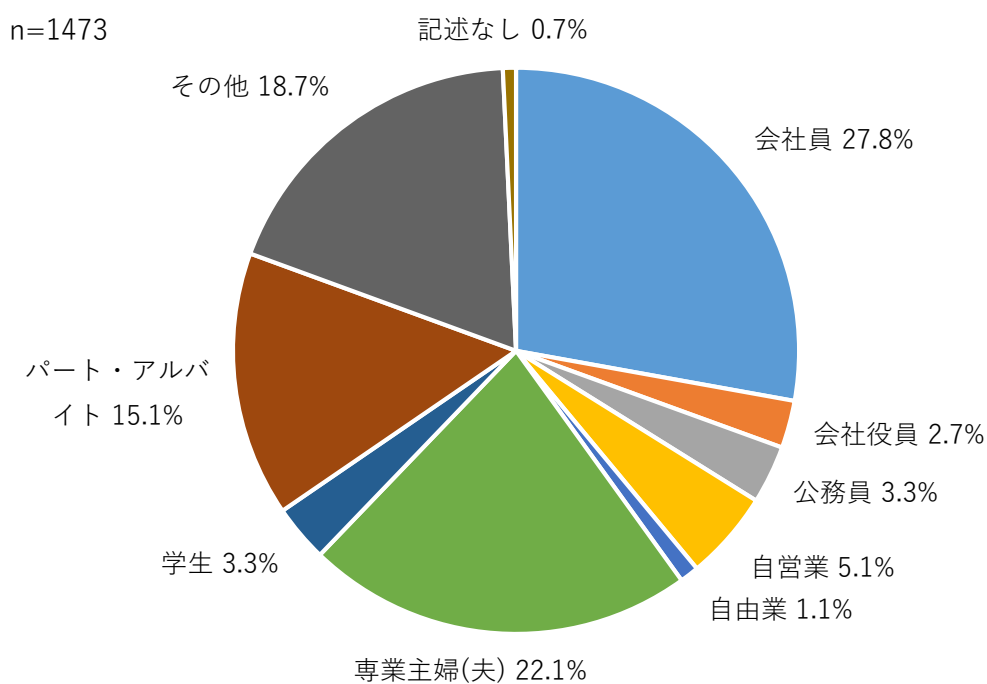
問2 あなたの年齢を教えてください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	18~29 歳	127	8.6%
2	30~39 歳	138	9.4%
3	40~49 歳	247	16.8%
4	50~59 歳	262	17.8%
5	60~69 歳	220	14.9%
6	70~79 歳	348	23.6%
7	80 歳以上	130	8.8%
8	記述なし	1	0.1%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に「70~79 歳」が 23.6%、「50~59 歳」が 17.8%、「40~49 歳」が 16.8%と続いています。

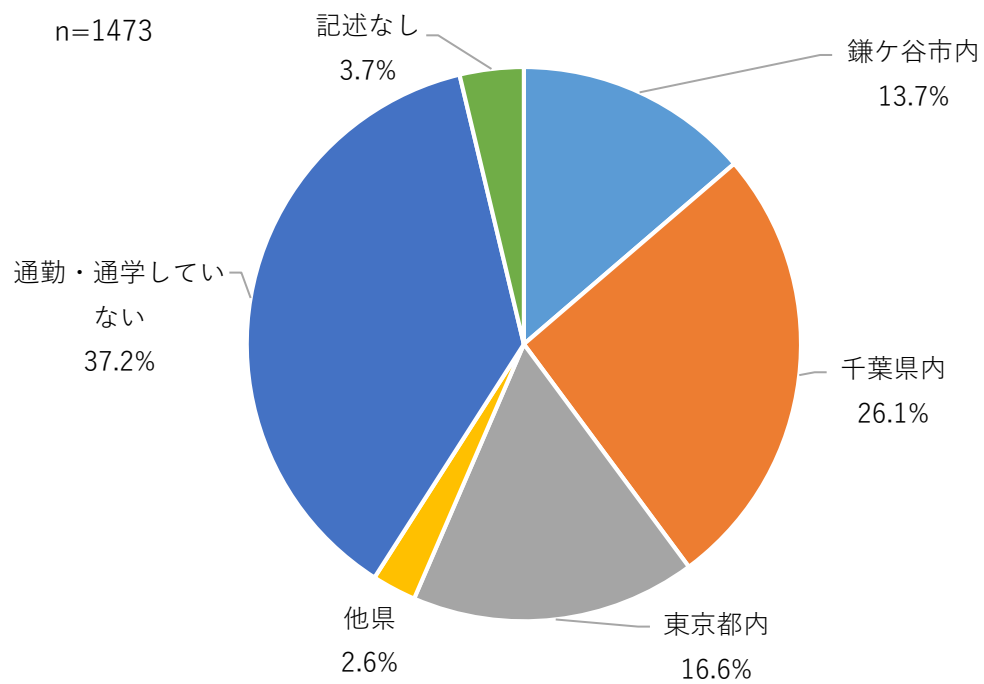
問3 あなたの職業を教えてください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	会社員	410	27.8%
2	会社役員	40	2.7%
3	公務員	49	3.3%
4	自営業	75	5.1%
5	自由業	16	1.1%
6	専業主婦(夫)	326	22.1%
7	学生	48	3.3%
8	パート・アルバイト	223	15.1%
9	その他	275	18.7%
10	記述なし	11	0.7%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に「会社員」が27.8%、「専業主婦(夫)」が22.1%、「その他」が18.7%と続いています。

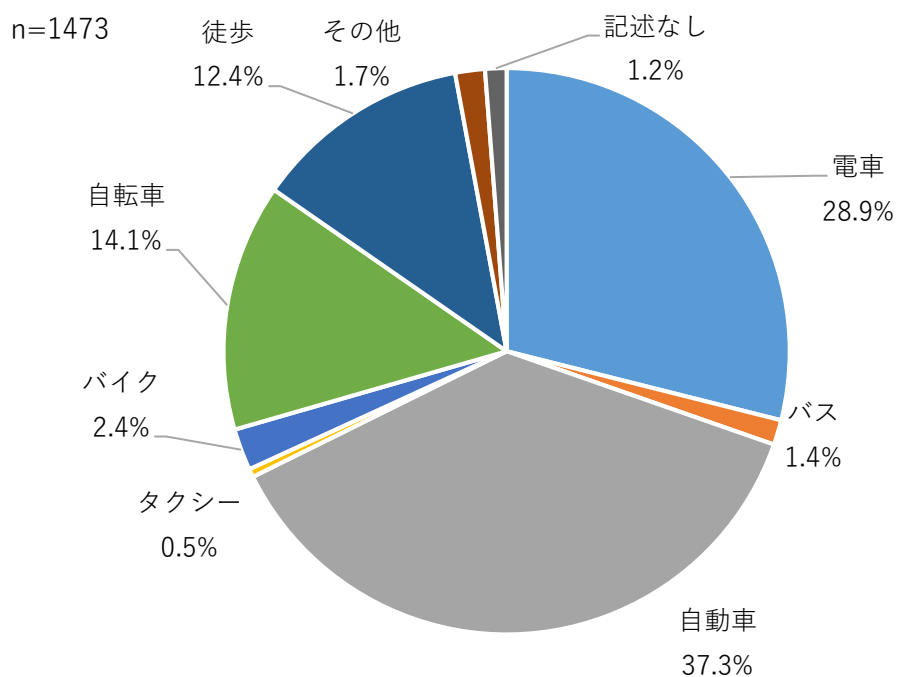
問4 通勤・通学先を教えてください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	鎌ヶ谷市内	202	13.7%
2	千葉県内	385	26.1%
3	東京都内	245	16.6%
4	他県	38	2.6%
5	通勤・通学していない	548	37.2%
6	記述なし	48	3.7%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に、「通勤・通学していない」が37.2%、「千葉県内」が26.1%、「東京都内」が16.6%、「鎌ヶ谷市内」が13.7%と続いています。

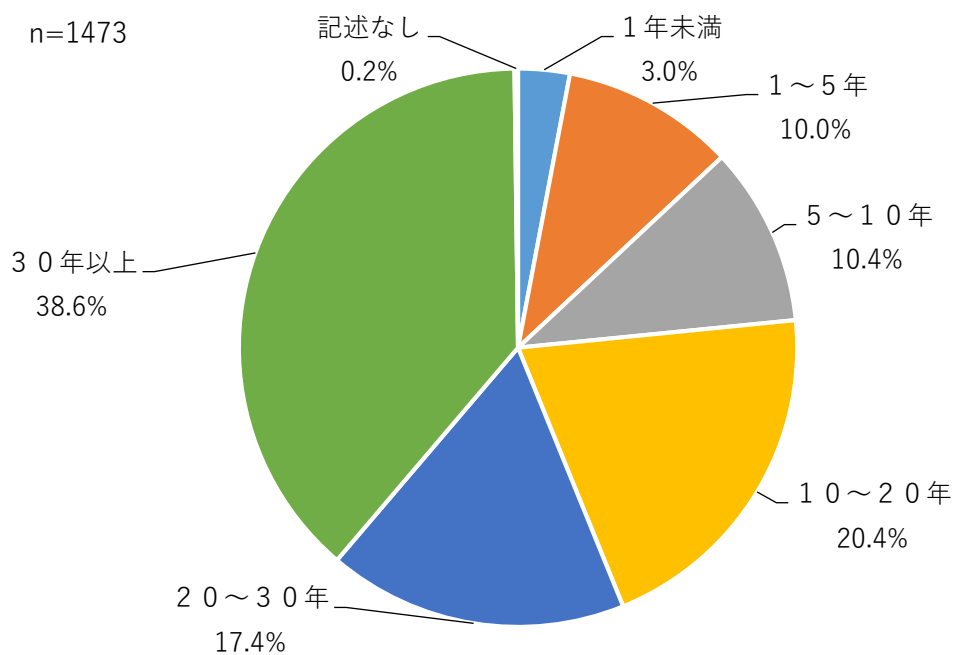
問5 通勤・通学または買い物などの日常生活で主に利用する交通手段を教えてください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	電車	426	28.9%
2	バス	21	1.4%
3	自動車	550	37.3%
4	タクシー	7	0.5%
5	バイク	35	2.4%
6	自転車	208	14.1%
7	徒歩	183	12.4%
8	その他	25	1.7%
9	記述なし	18	1.2%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に「自動車」が 37.3%、「電車」が 28.9%「自転車」が 14.1%「徒歩」が 12.4%と続いています。

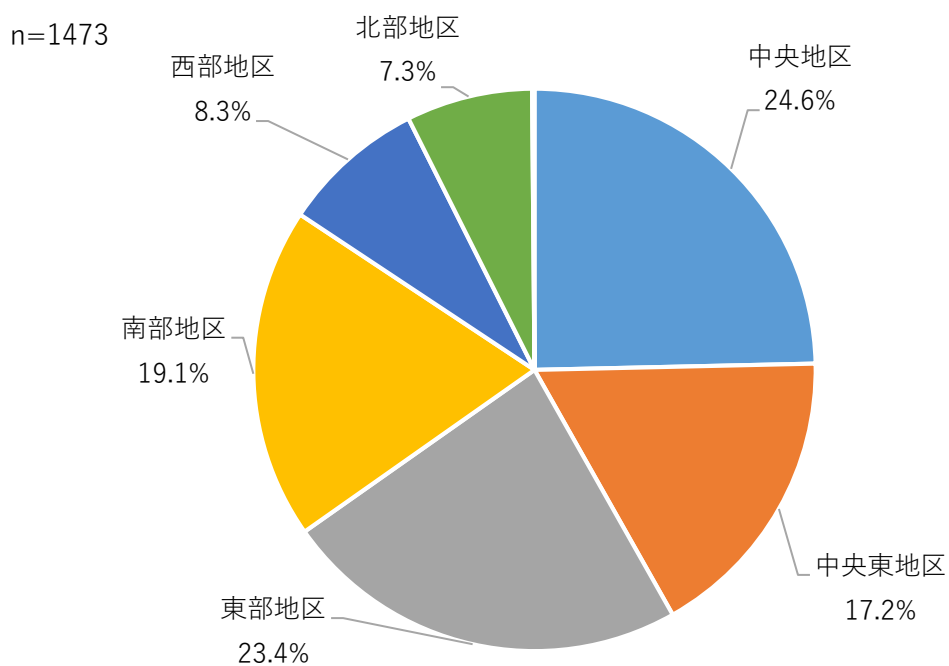
問6 居住している年数についてお答えください。



	区分	回答 (人)	割合 (%)
1	1 年未満	44	3.0%
2	1～5 年	148	10.0%
3	5～10 年	153	10.4%
4	10～20 年	301	20.4%
5	20～30 年	256	17.4%
6	30 年以上	568	38.6%
7	記述なし	3	0.2%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に「30年以上」が38.6%、「10～20年」が20.4%、「20～30年」が17.4%と続いています。

問7 あなたがお住まいの地区は次のどこですか。



	区分	票数 (人)	割合 (%)
1	中央地区	363	24.6%
2	中央東地区	253	17.2%
3	東部地区	345	23.4%
4	南部地区	281	19.1%
5	西部地区	122	8.3%
6	北部地区	107	7.3%
7	記述なし	2	0.1%
	全体	1,473	100.0%

○高い順に、「中央地区」が24.6%、「東部地区」が23.4%、「南部地区」が19.1%、「中央東地区」が17.2%と続いています。

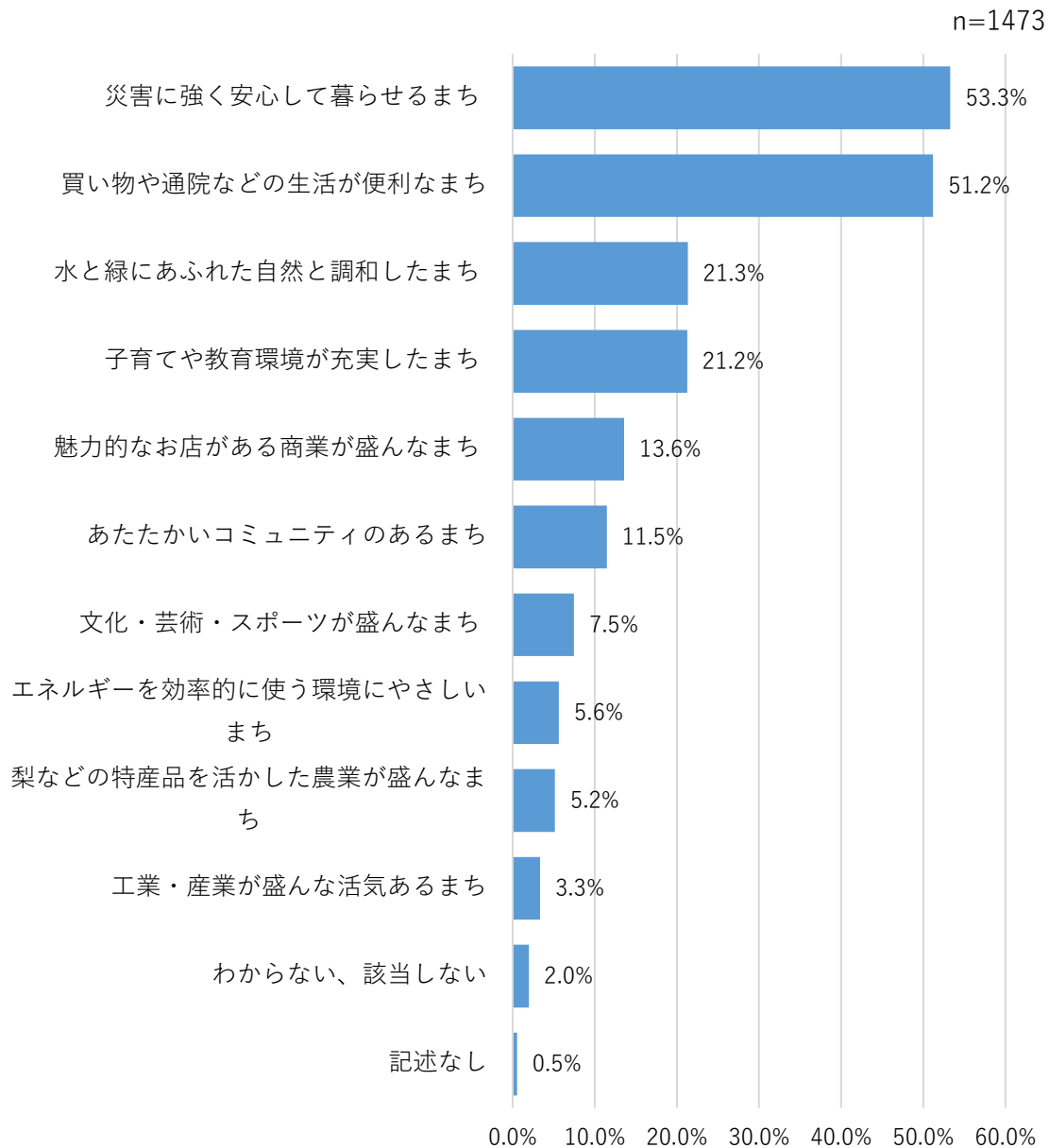
3. 調査結果（市全体集計）

1. 将来の鎌ヶ谷市のイメージについて（問8 ～ 問9）

問8 あなたは、将来の鎌ヶ谷市全体がどのようなまちになればよいと思いますか。

（1）全体の傾向

鎌ヶ谷市の将来イメージについて 全体

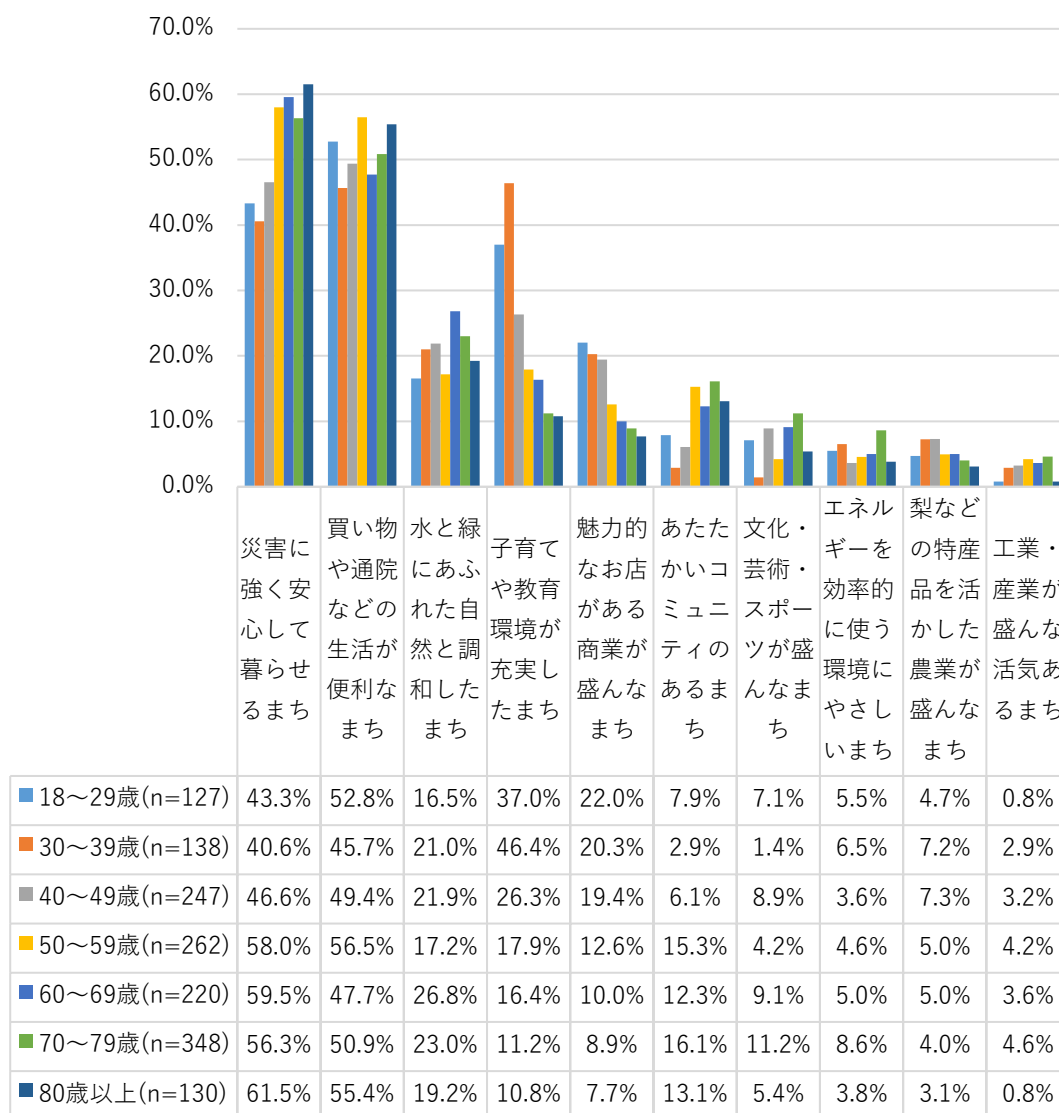


○「災害に強く安心して暮らせるまち」が53.3%と最も高く、「買い物や通院などの生活が便利なまち」が51.2%と続いています。

(2) 属性別の傾向

① 年齢別

鎌ヶ谷市の将来イメージについて 年齢別



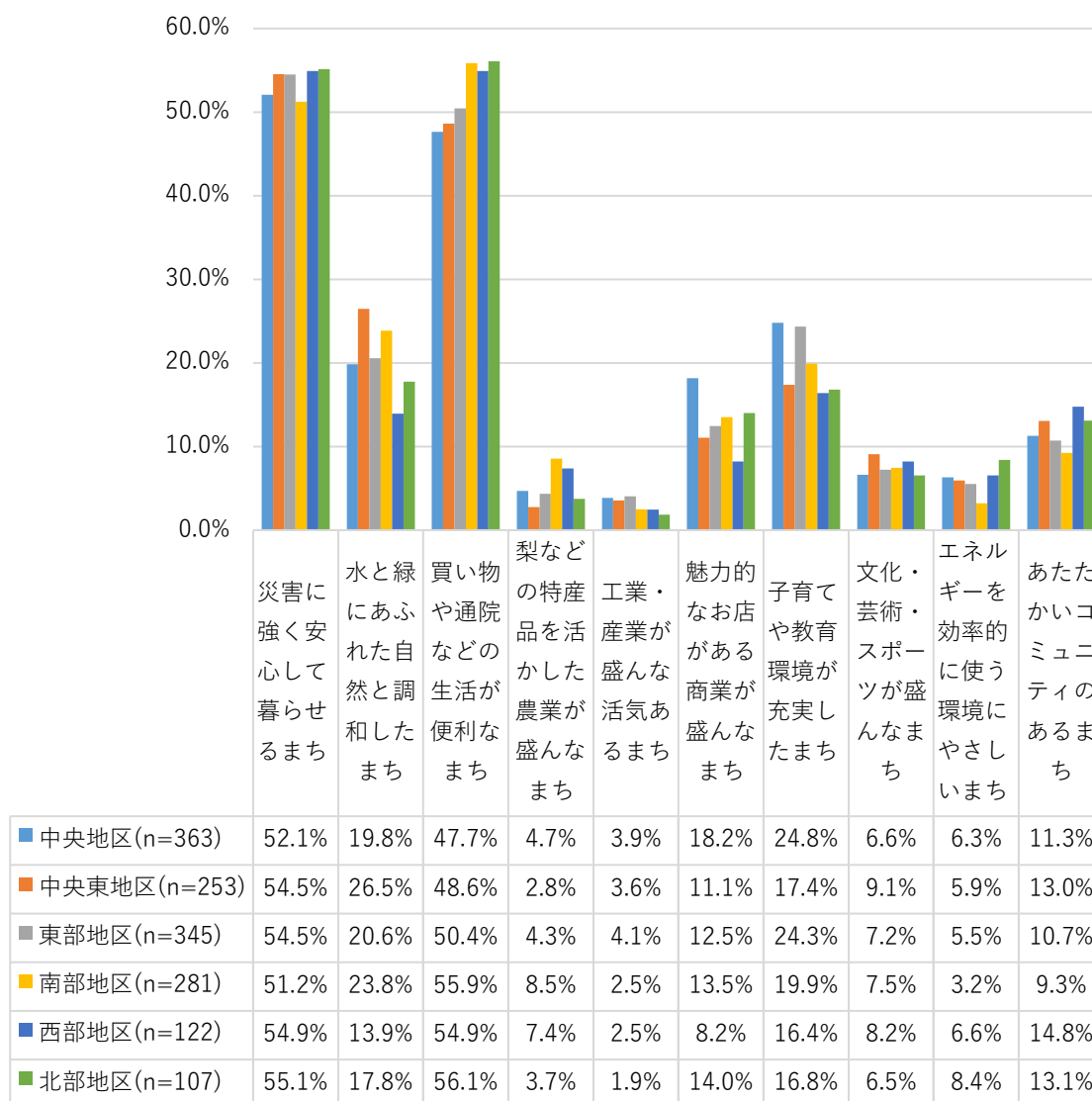
【年齢別】

○全ての年代で「買い物や通院などの生活が便利なまち」や「災害に強く安心して暮らせるまち」が高くなっています。

○30代で、「子育てや教育環境が充実したまち」が最も高くなっています。

② 地区別

鎌ヶ谷市の将来イメージについて 地区別



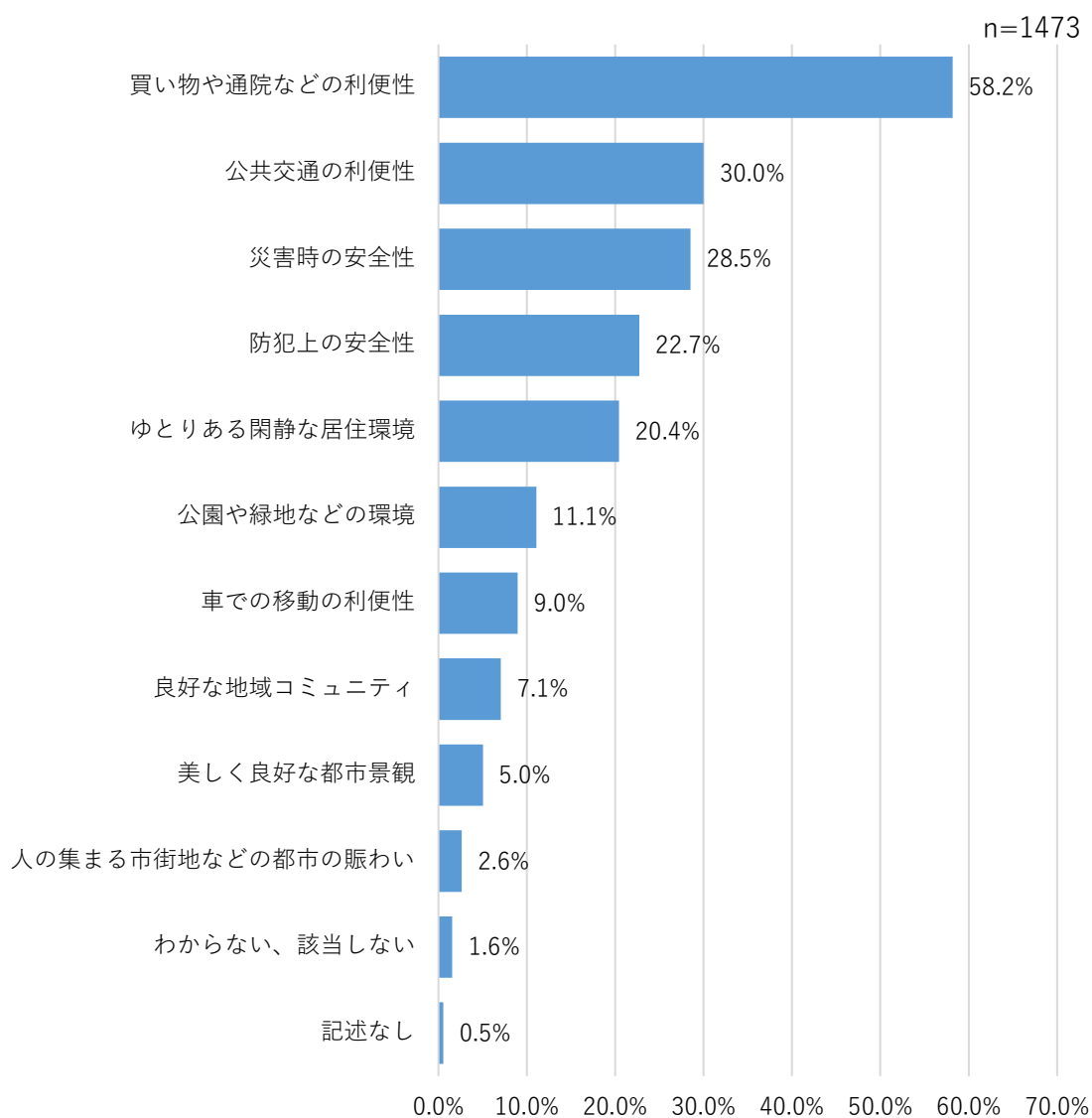
【地区別】

○全地区で「災害に強く安心して暮らせるまち」と「買い物や通院などの生活が便利なまち」が高くなっています。

問9. あなたご自身の居住環境として重視するものはどれですか。

(1) 全体の傾向

居住環境で重視するもの 全体

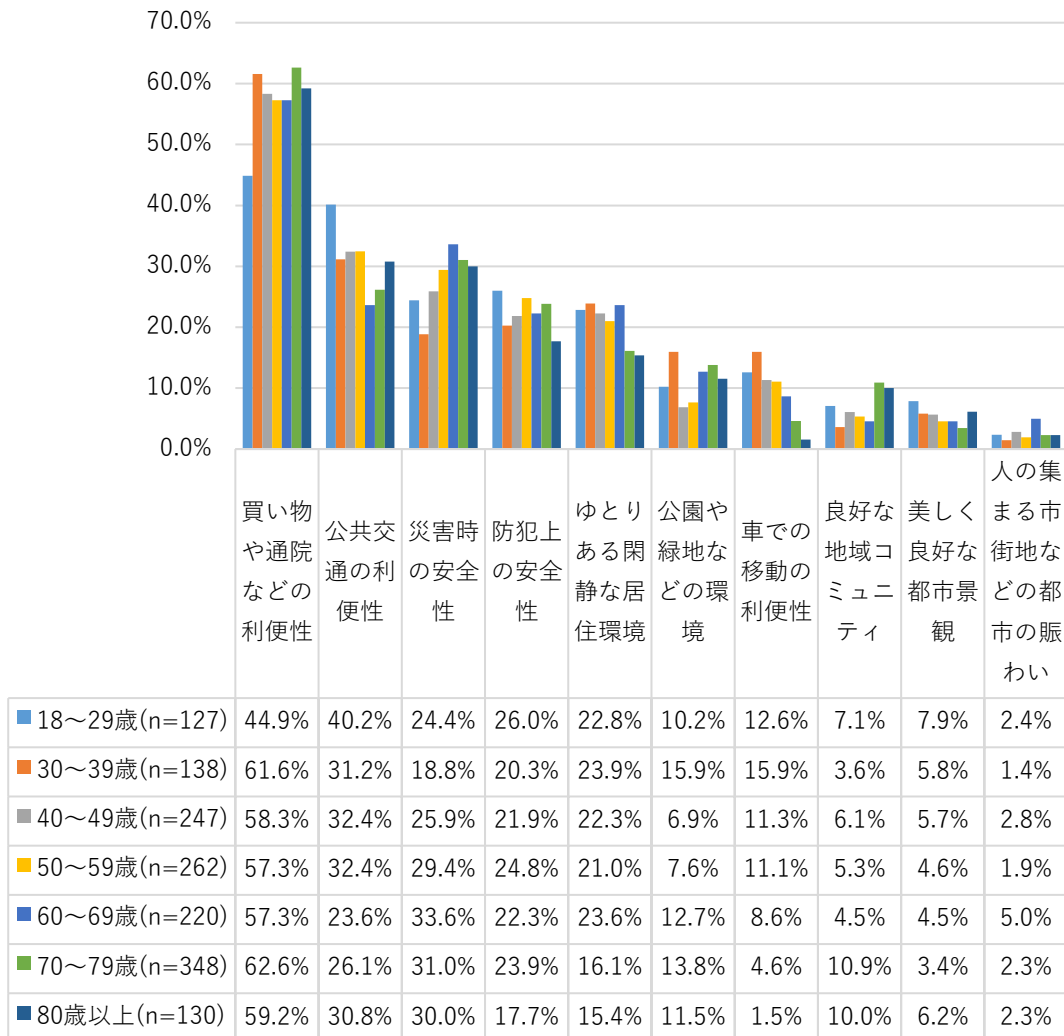


○「通院や買い物などの利便性」が 58.2%と最も高く、次いで「公共交通の利便性」が 30.0%、「災害時の安全性」が 28.5%と続いています。

(2) 属性別の傾向

① 年齢別

居住環境で重視するもの 年齢別

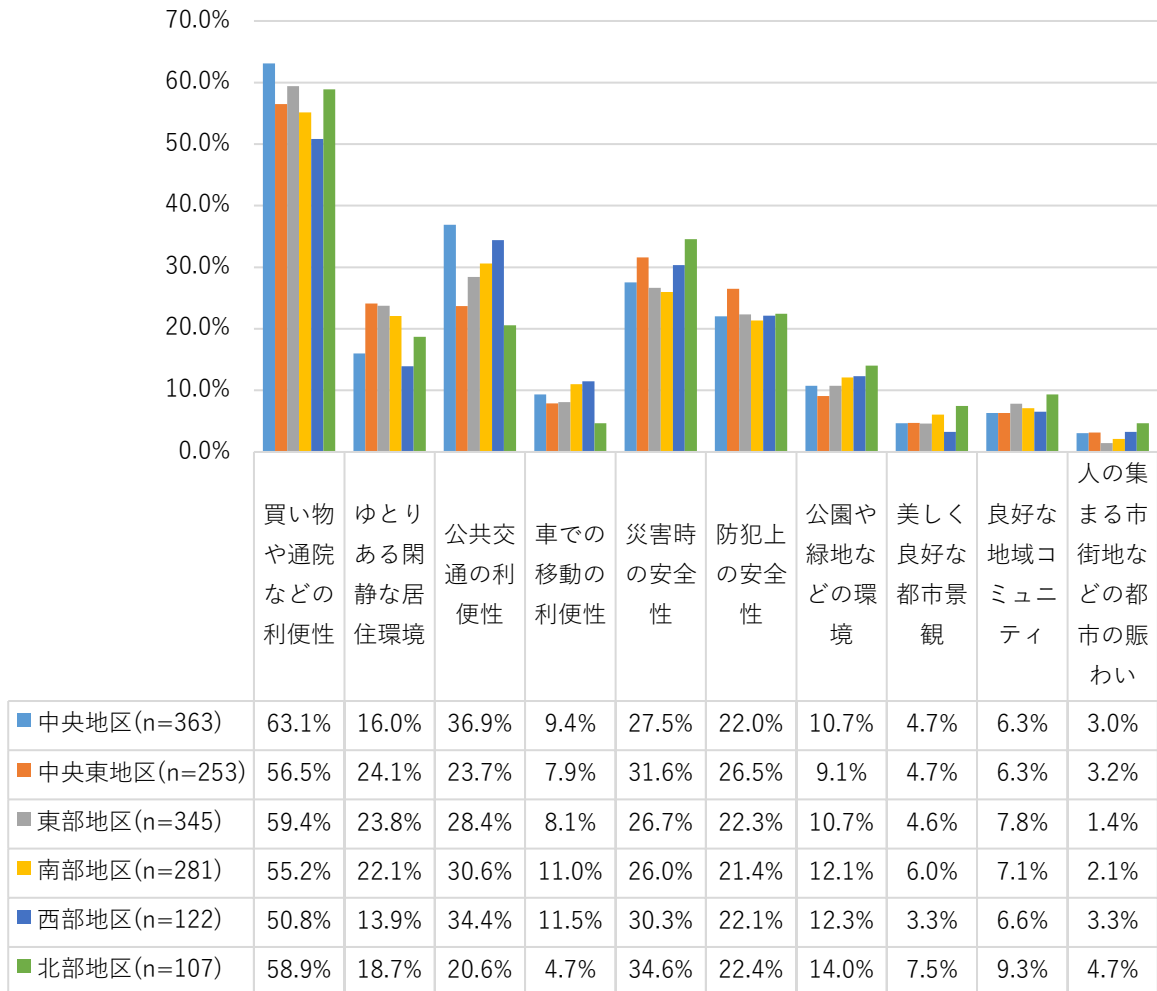


【年齢別】

- 全ての年代で「買い物や通院などの利便性」が最も高くなっています。
- 10～20代では「公共交通の利便性」が他の年代と比較して高くなっています。

②地区別

居住環境で重視するもの 地区別



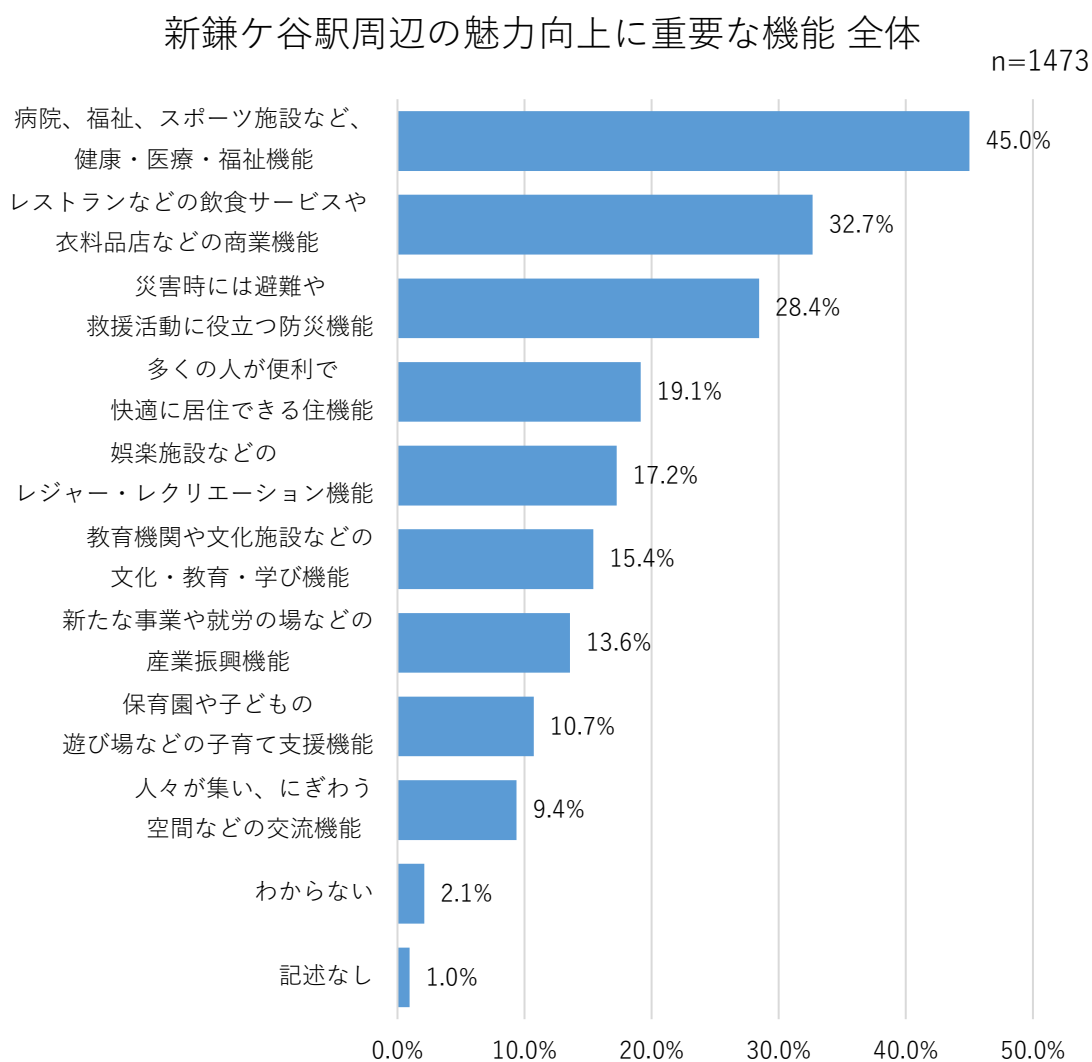
【地区別】

○全地区で「買い物や通院などの利便性」が最も高くなっています。

2. これからのまちづくりのあるべき方向（問10～問14）

問10 鎌ヶ谷市の顔となる新鎌ヶ谷駅周辺の魅力向上に重要な機能

(1) 全体の傾向

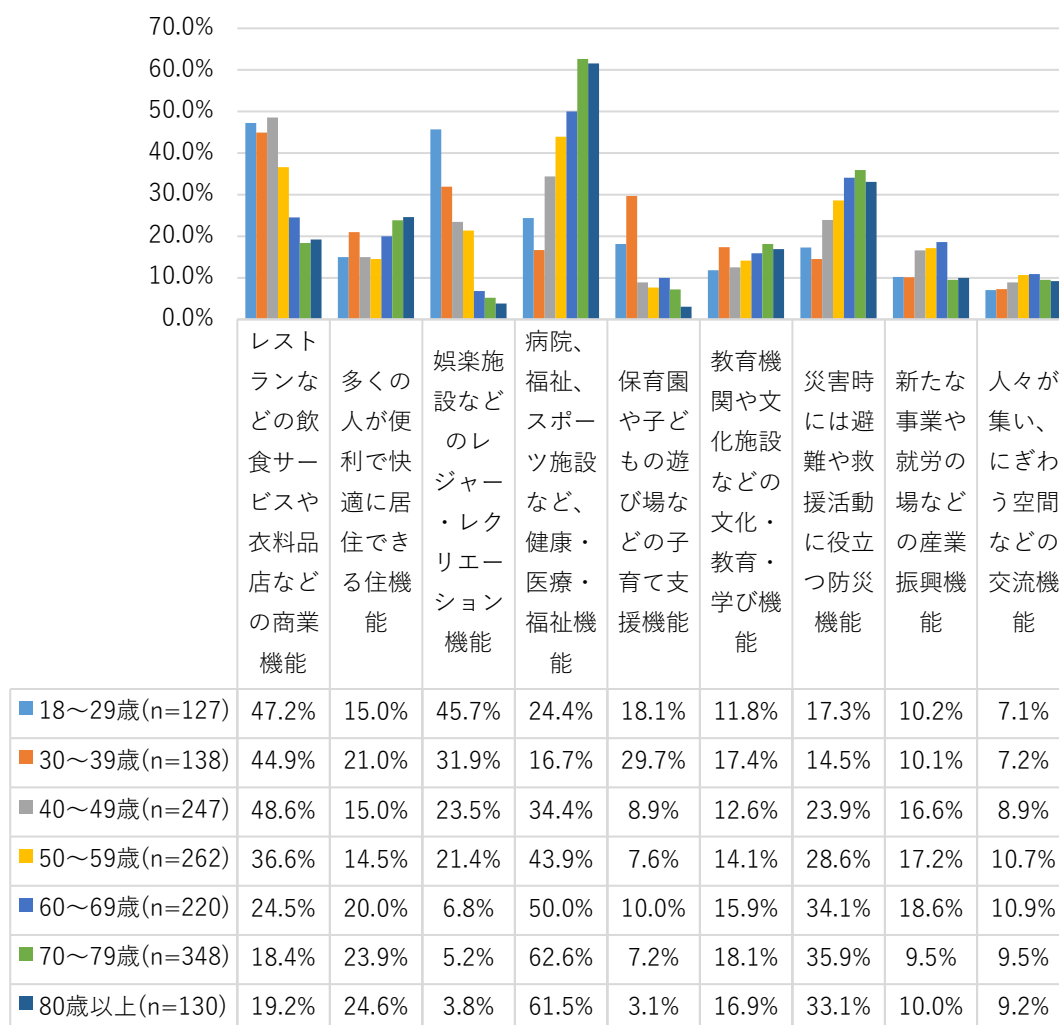


○「病院、福祉、スポーツ施設など、健康・医療・福祉機能」が45.0%で最も高く、次いで「レストランなどの飲食サービスや衣料品店などの商業機能」が32.7%、「災害時には避難や救援活動に役立つ防災機能」が28.4%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

新鎌ヶ谷駅周辺の魅力向上に重要な機能 年齢別

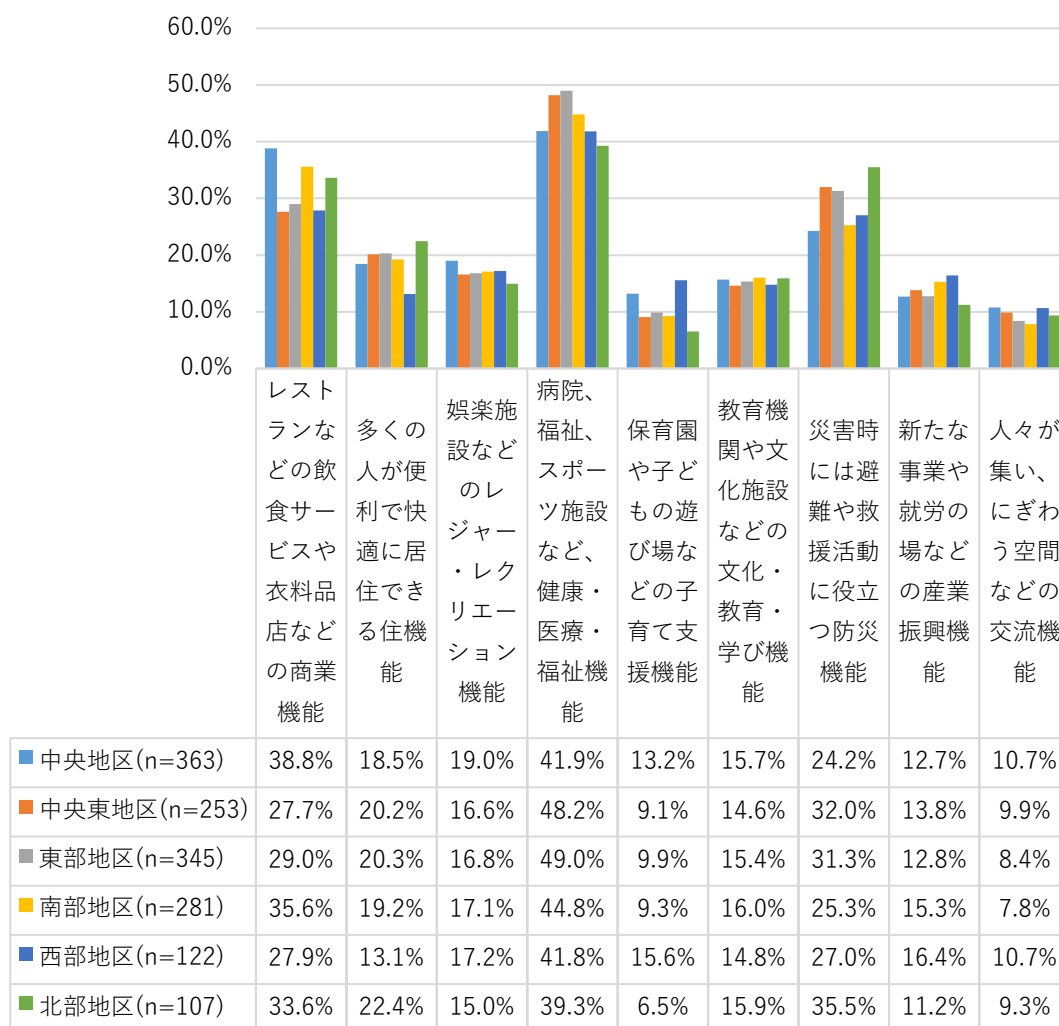


【年齢別】

- 50代以上では、「病院、福祉、スポーツ施設など、健康・医療・福祉機能」が最も高くなっています。
- 10～40代では「レストランなどの飲食サービスや衣料品店などの商業機能」が最も高くなっています。
- 10～20代では「娯楽施設などのレジャー・レクリエーション機能」が他の年代と比較し、高くなっています。

②地区別

新鎌ヶ谷駅周辺の魅力向上に重要な機能 地区別

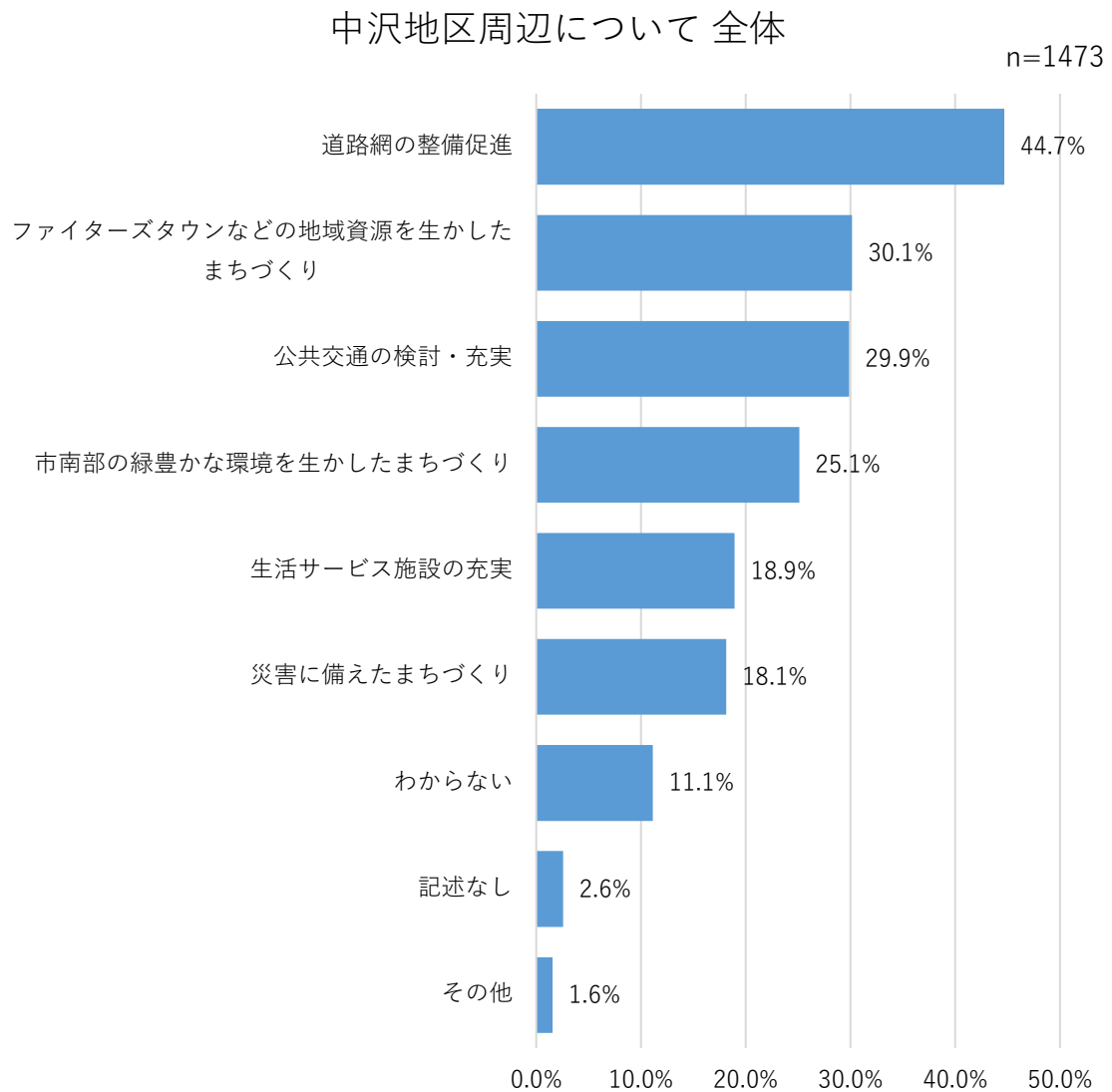


【地区別】

○全地区で「病院、福祉、スポーツ施設など、健康・医療・福祉機能」が最も高くなっています。

問 11. 中沢地区周辺のまちづくりについて

(1) 全体の傾向

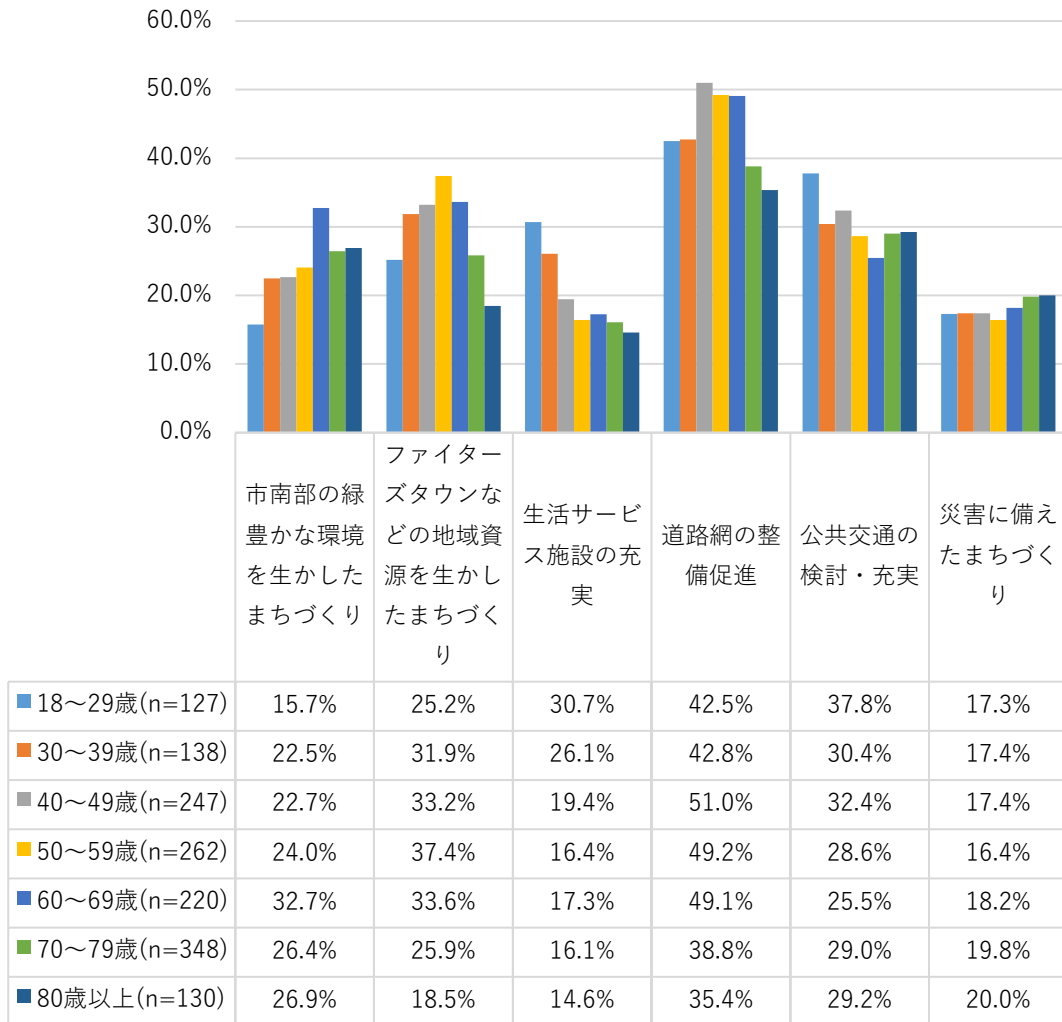


○「道路網の整備促進」が 44.7%で最も高く、「ファイターズタウンなどの地域資源を生かしたまちづくり」が 30.1%、「公共交通の検討・充実」が 29.9 %と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

中沢地区周辺について 年齢別

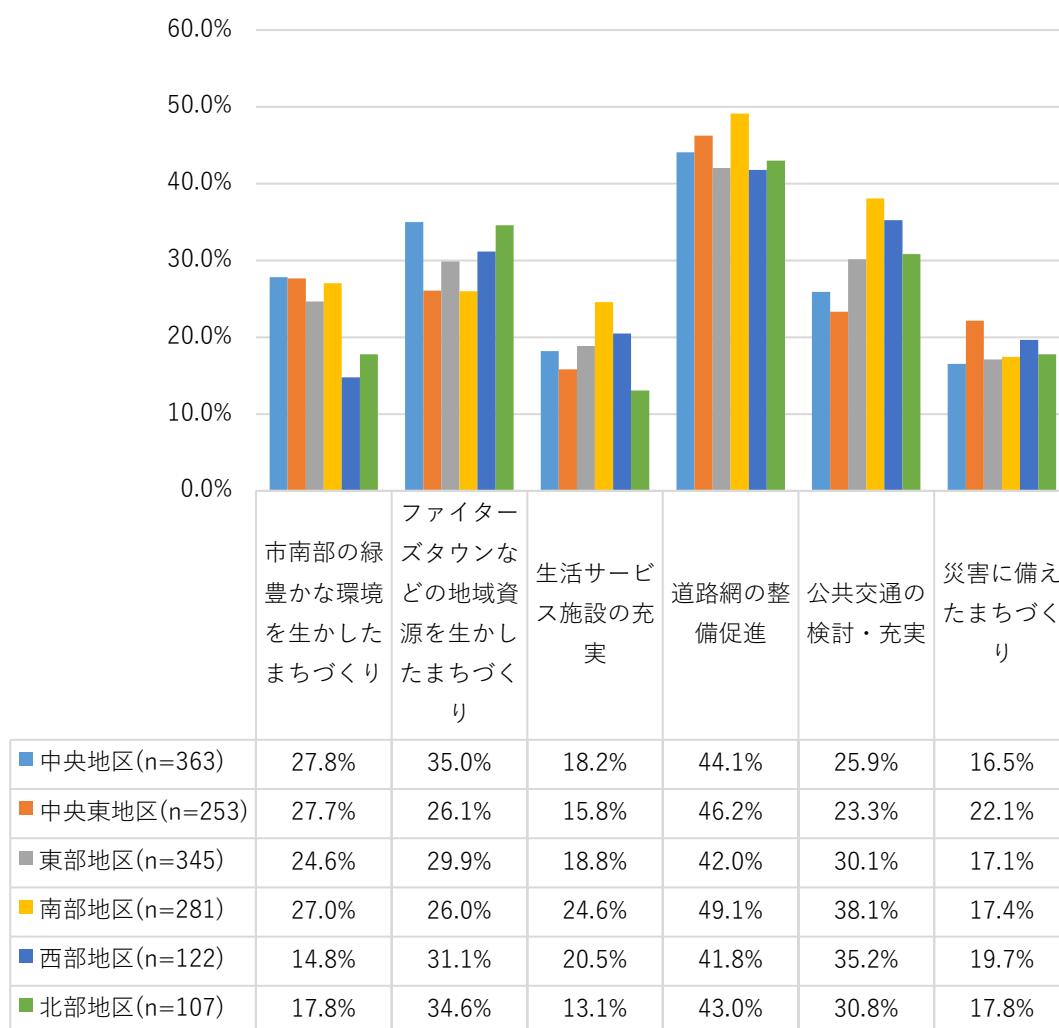


【年齢別】

○全年代で「道路網の整備促進」が最も高くなっています。

②地区別

中沢地区周辺について 地区別

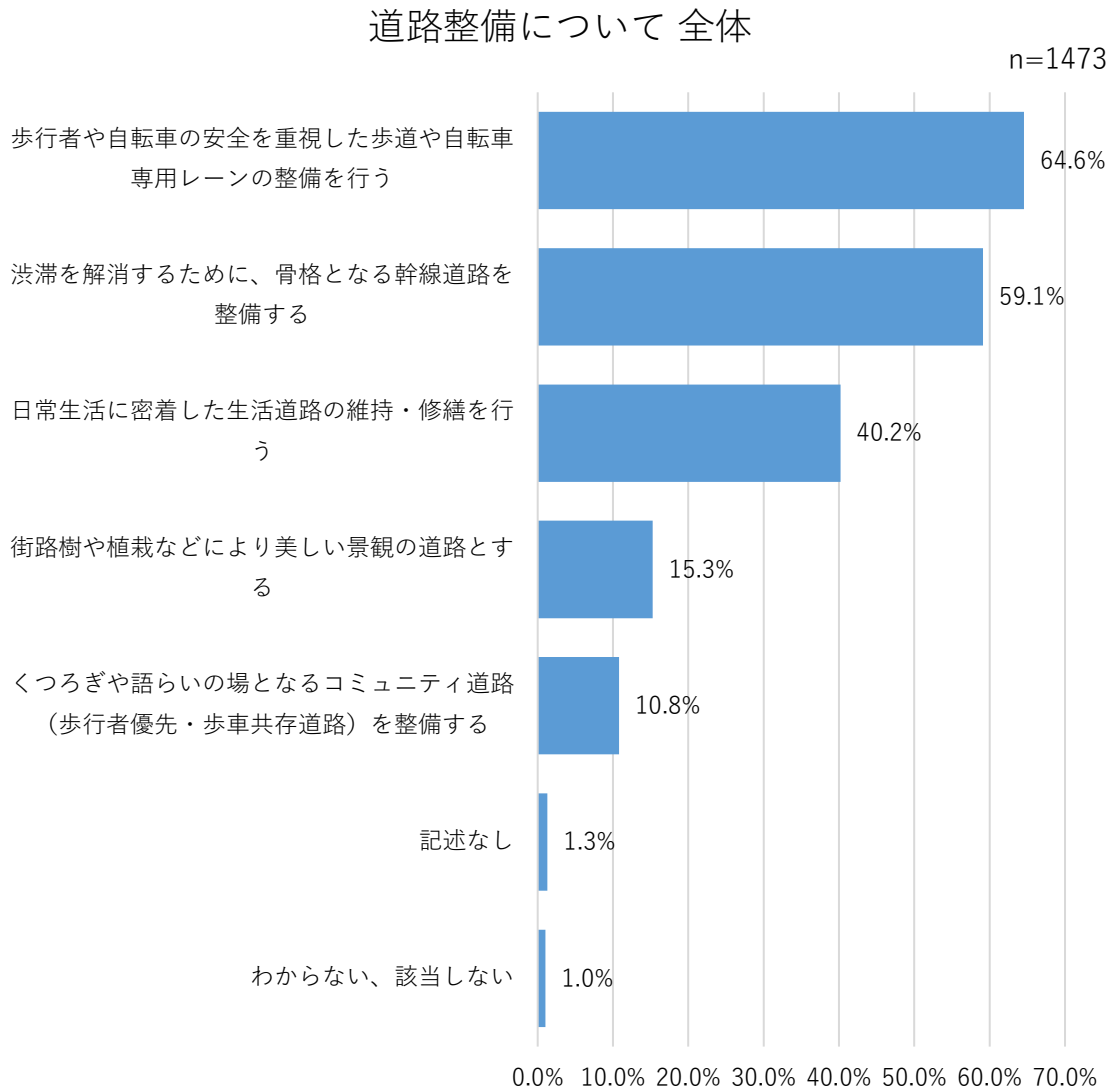


【地区別】

○全地区で「道路網の整備促進」が最も高くなっています。

問 12 道路整備について

(1) 全体の傾向

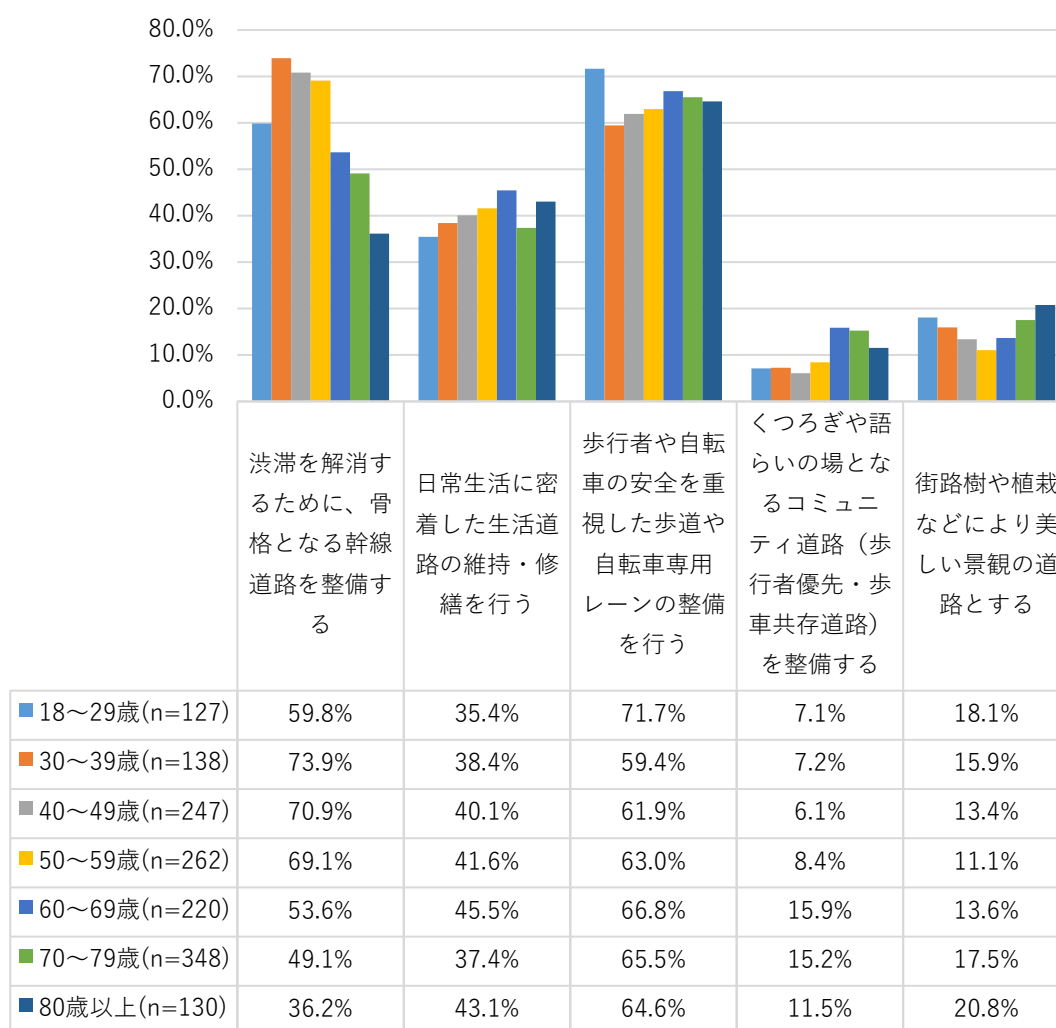


○「歩行者や自転車の安全を重視した歩道や自転車専用レーンの整備を行う」が 64.6%で最も高く、「渋滞を解消するために、骨格となる幹線道路を整備する」が 59.1%、「日常生活に密着した生活道路の維持・修繕を行う」が 40.2%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

道路整備について 年齢別

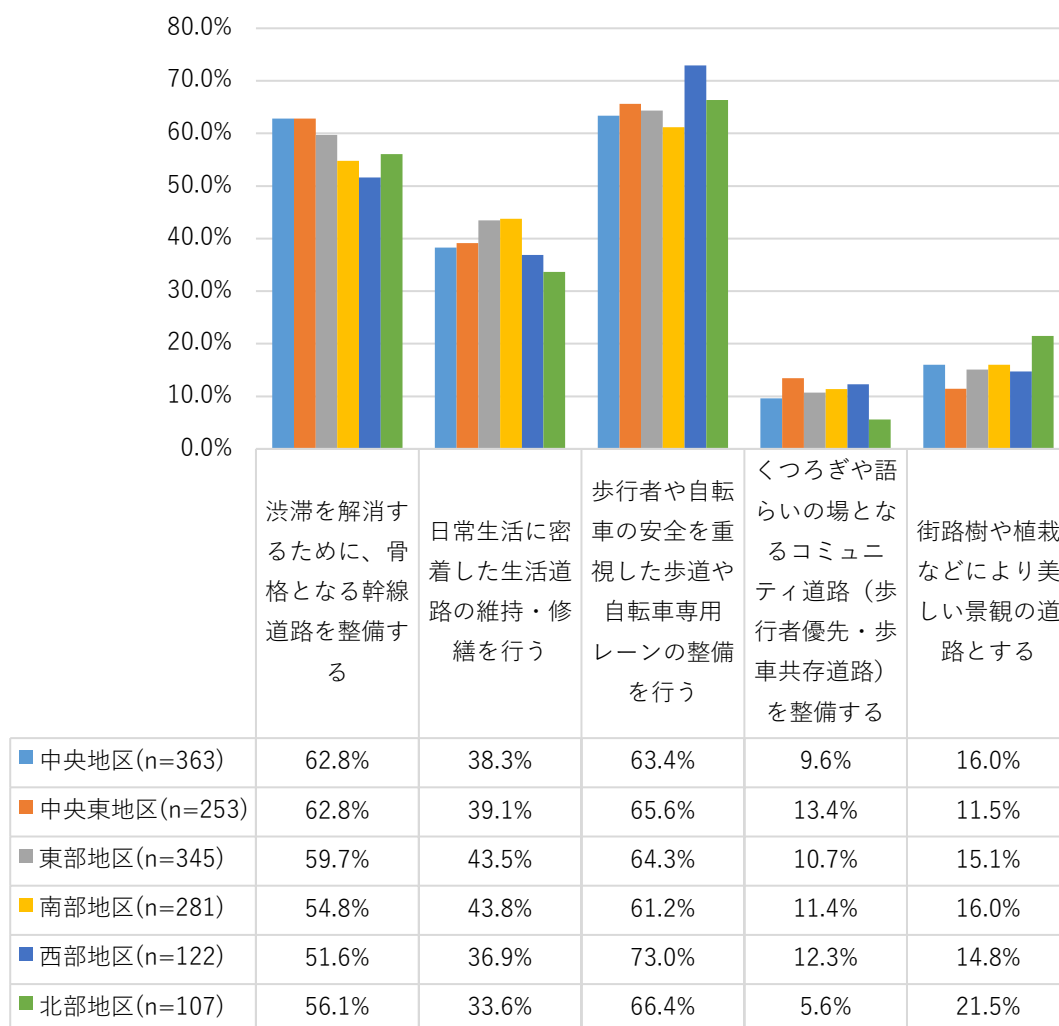


【年齢別で高い傾向がみられるもの】

- 30～50代で「渋滞を解消するために骨格となる幹線道路を整備する」が最も高くなっています。
- その他の年代で「歩行者や自転車の安全を重視した歩道や自転車専用レーンの整備を行う」が最も高くなっています。

②地区別

道路整備について 地区別

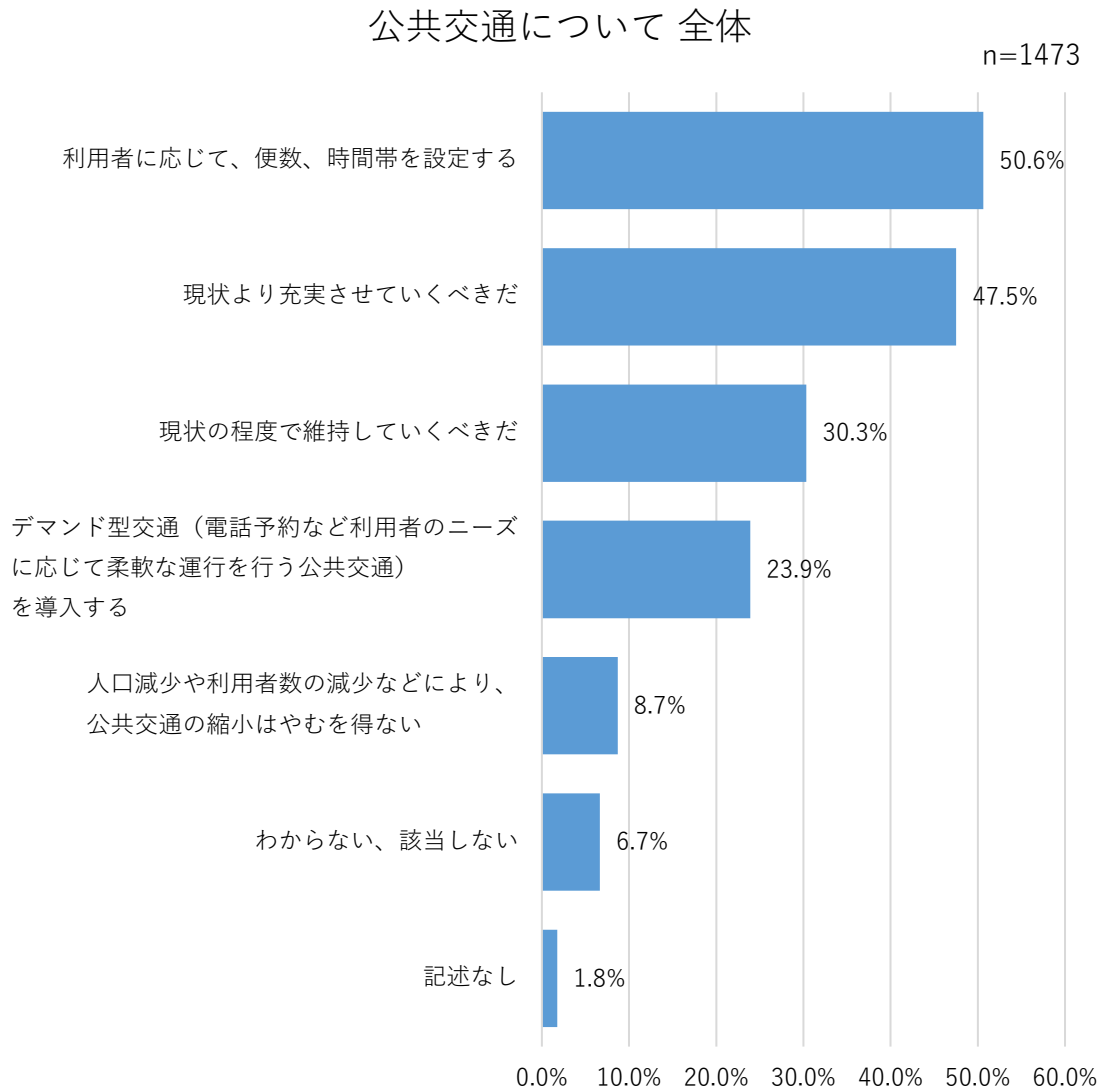


【地区別】

○全地区で「歩行者や自転車の安全を重視した歩道や自転車専用レーンの整備を行う」が最も高く、次いで「渋滞を解消するために、骨格となる幹線道路を整備する」が高くなっています。

問 13 公共交通について

(1) 全体の傾向

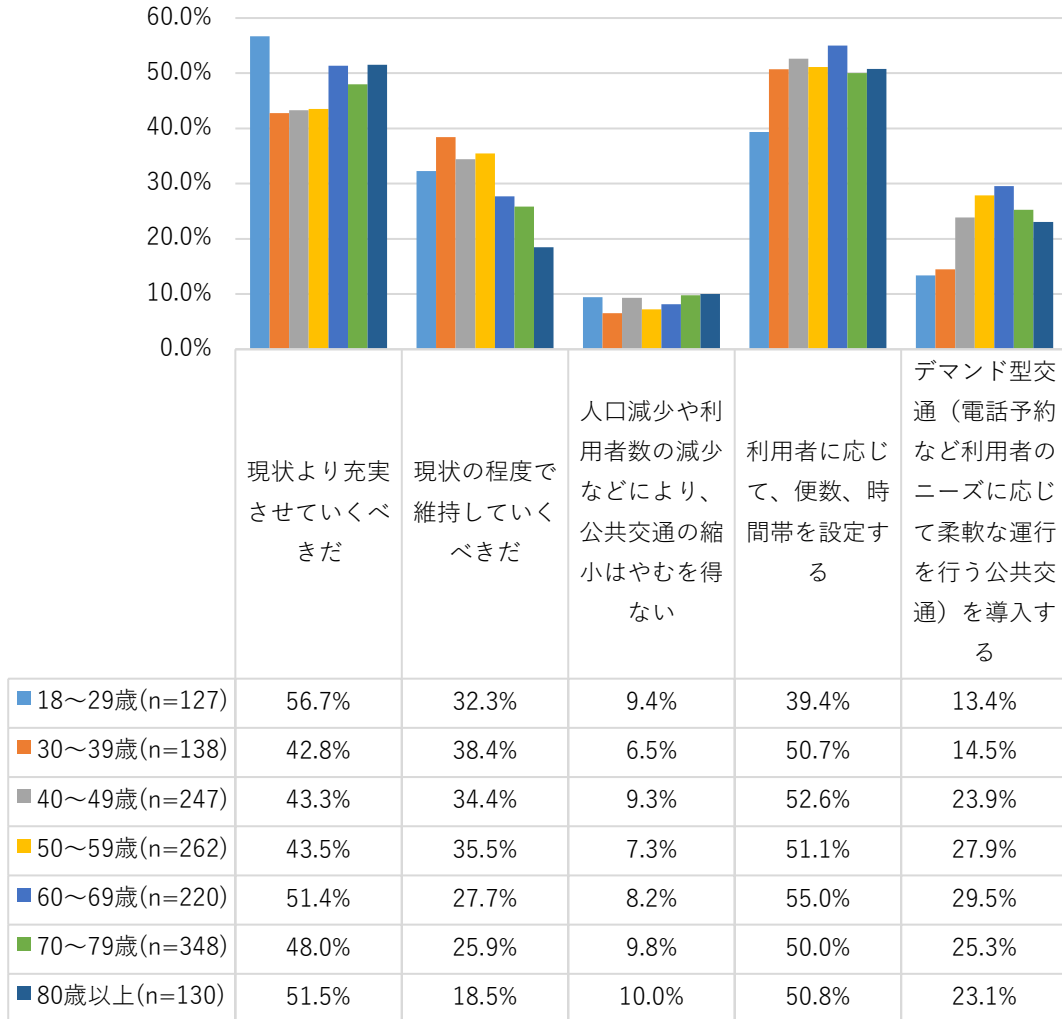


○「利用者に応じて、便数、時間帯を設定する」が 50.6%と最も高く、次いで「現状より充実させていくべきだ」が 47.5%、「現状の程度で維持していくべきだ」が 30.3%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

公共交通について 年齢別

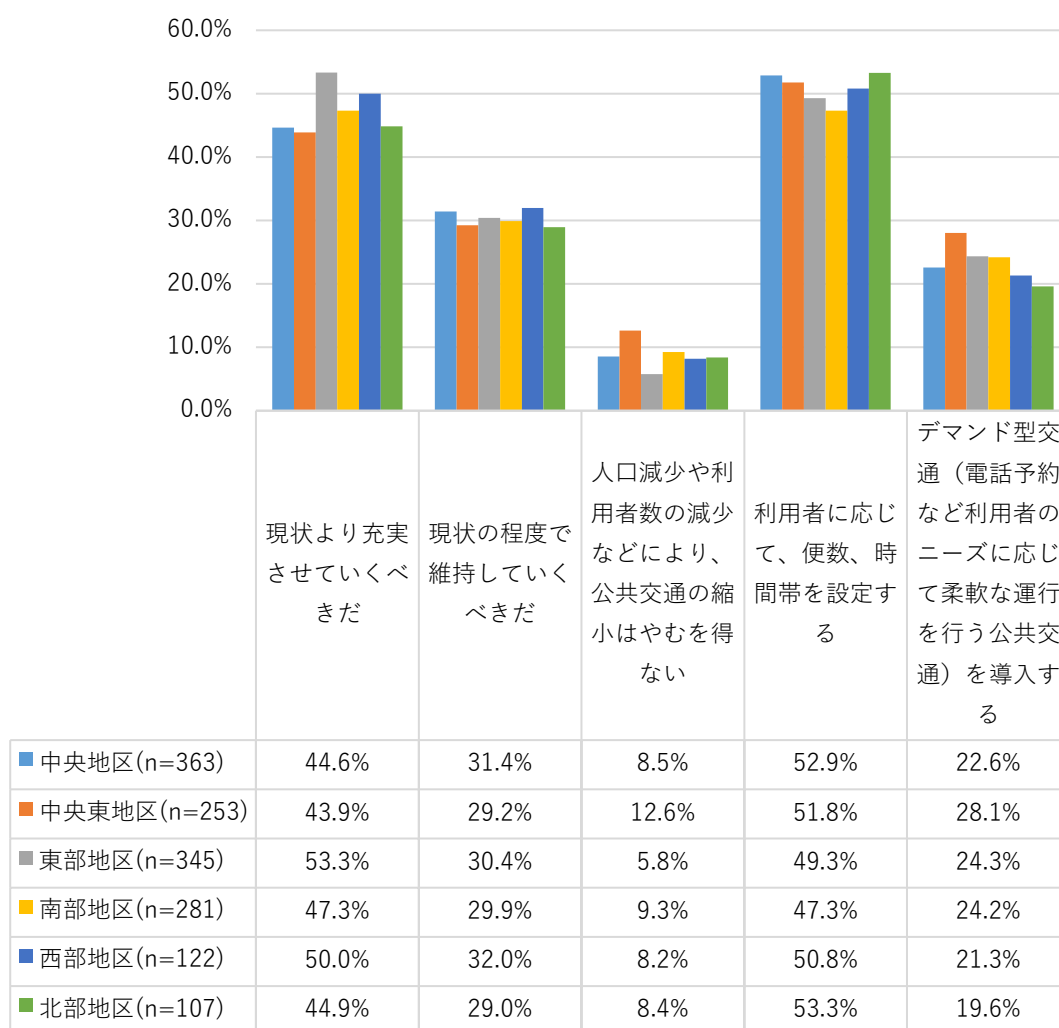


【年齢別】

○全年代で「利用者に応じて、便数、時間帯を設定する」と「現状より充実させていくべきだ」とが高くなっています。

②地区別

公共交通について 地区別



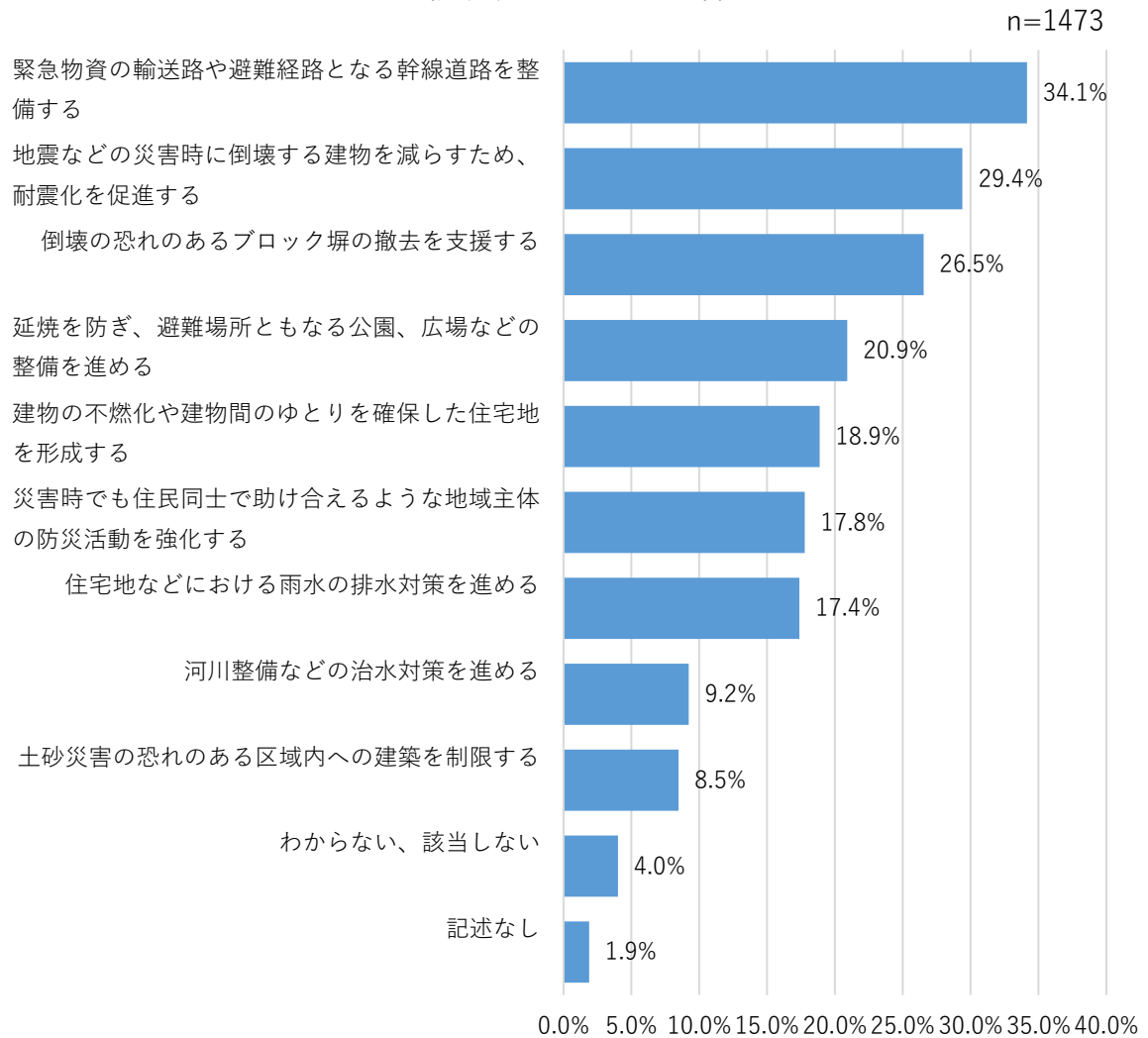
【地区別】

○全地区で「利用者に応じて、便数、時間帯を設定する」と「現状より充実させていくべきだ」が高くなっています。

問 14. 防災まちづくりについて

(1) 全体の傾向

防災について 全体

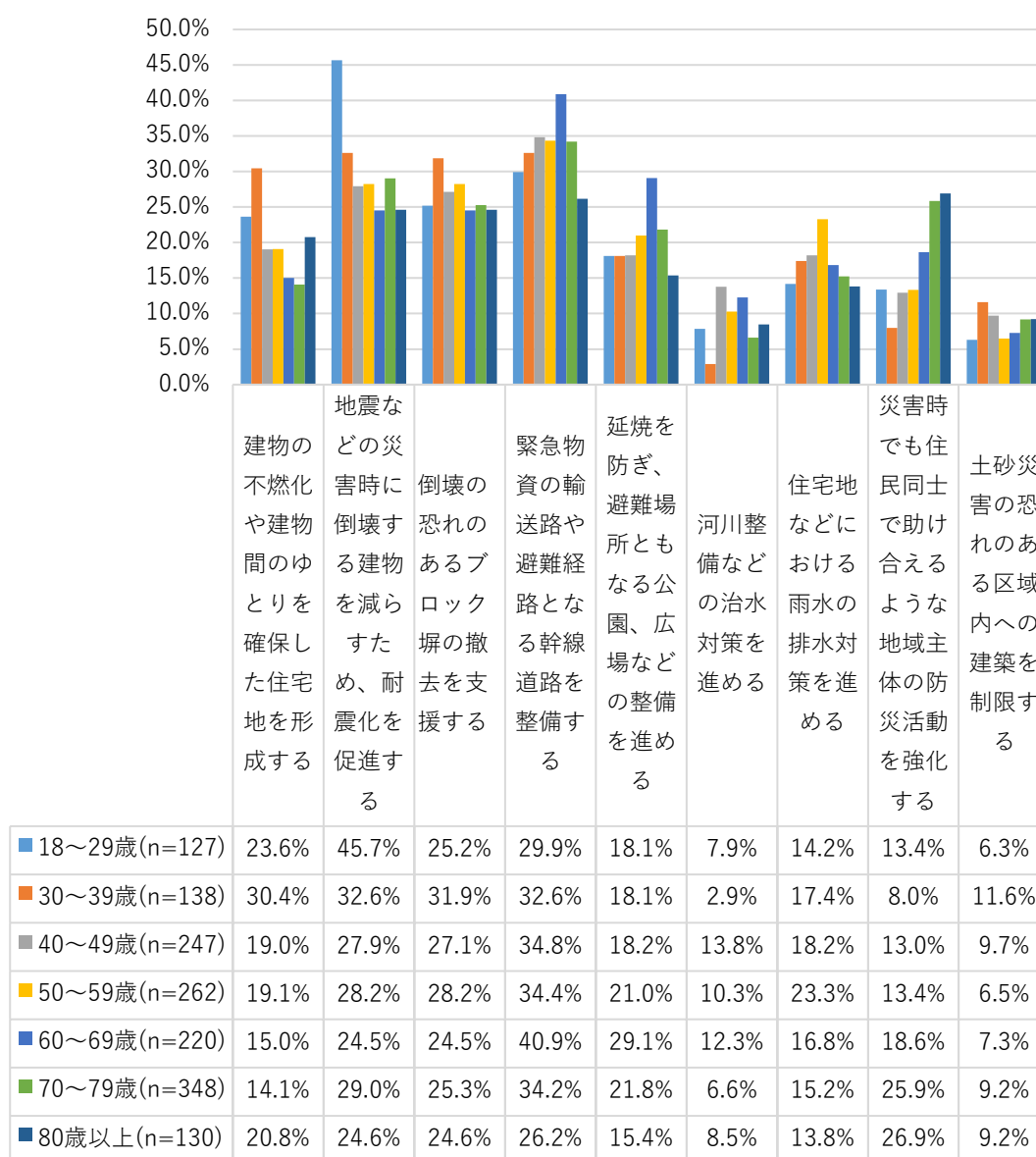


○「緊急物資の輸送路や避難経路となる幹線道路を整備する」が 34.1%で最も高く、「地震などの災害時に倒壊する建物を減らすため、耐震化を促進する」が 29.4%、「倒壊の恐れのあるブロック塀の撤去を支援する」が 26.5%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

防災について 年齢別

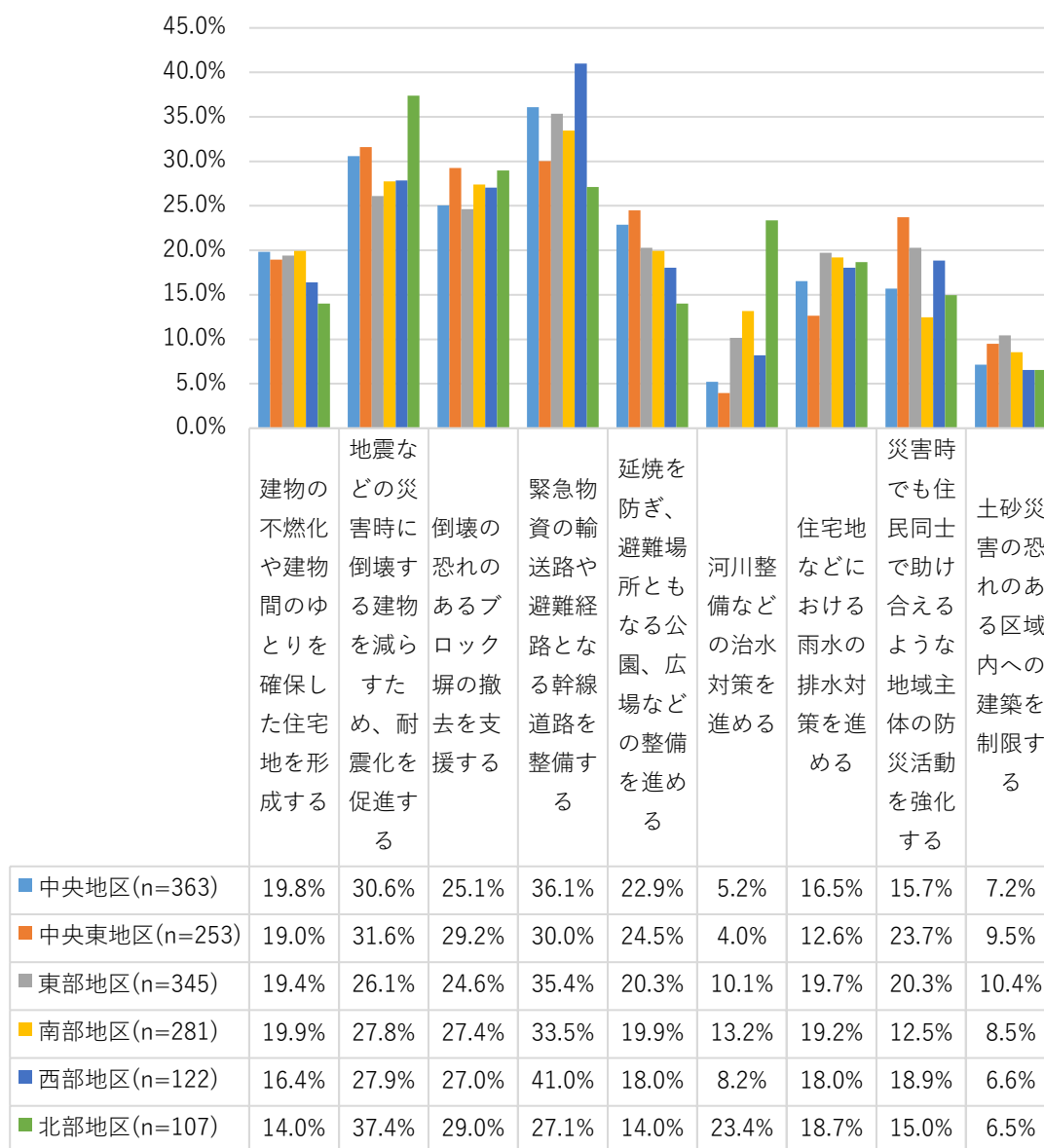


【年齢別】

- 30～70代で「緊急物資の輸送路や避難経路となる幹線道路を整備する」が最も高くなっています。
- 10～20代で「地震などの災害時に倒壊する建物を減らすため、耐震化を促進する」が最も高くなっています。
- 80代以上で「災害時でも住民同士で助け合えるような地域主体の防災活動を強化する」が最も高くなっています。

②地区別

防災について 地区別



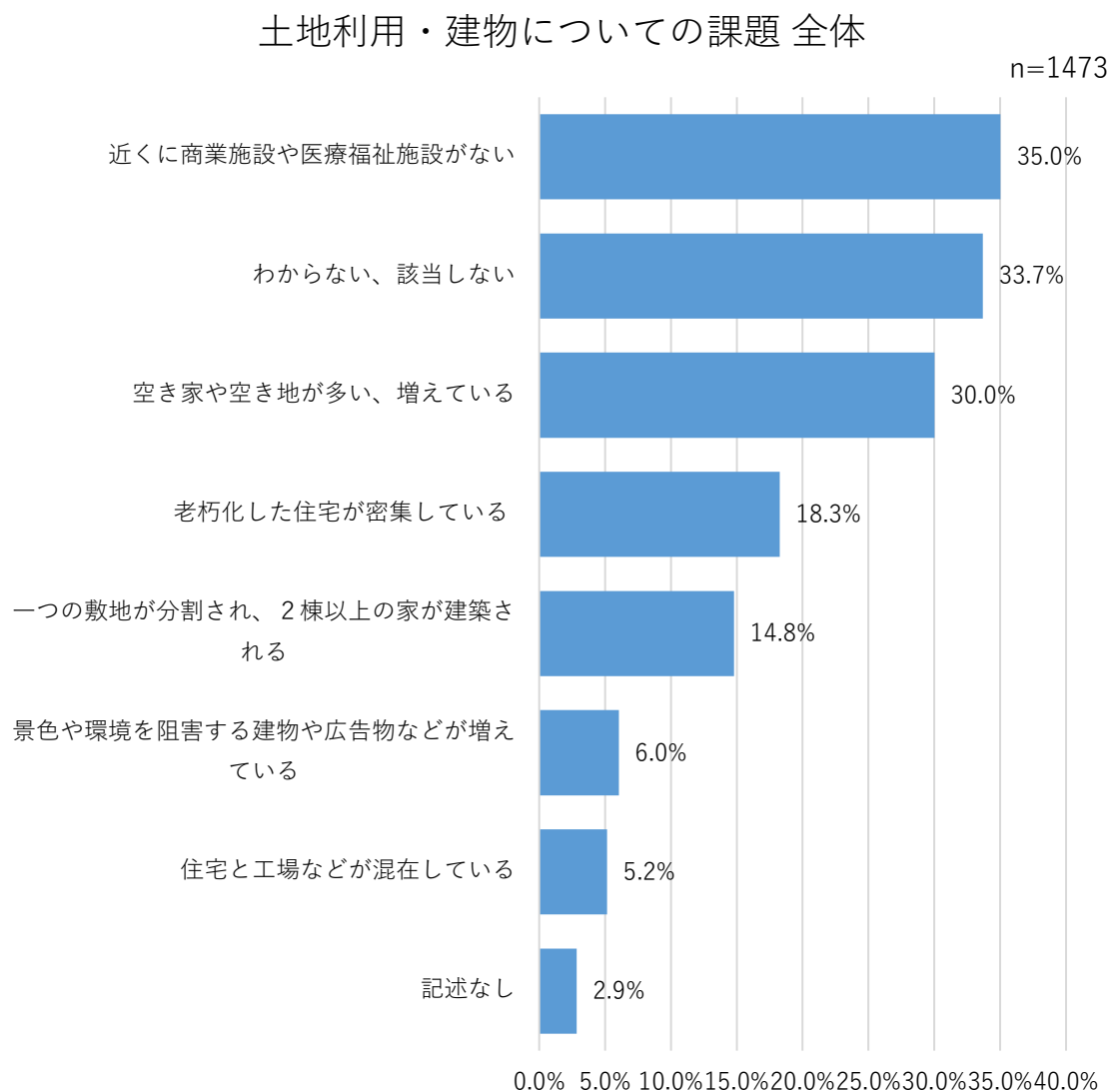
【地区別】

- 西部地区・中央地区・東部地区・南部地区で「緊急物資の輸送路や避難経路となる幹線道路を整備する」が最も高くなっています。
- 北部地区・中央東地区では、「地震などの災害時に倒壊する建物を減らすため、耐震化を促進する」が最も高くなっています。

3. 地域の課題（問15～問20）

問15. お住まいの地域の土地利用・建物についての課題

（1）全体の傾向

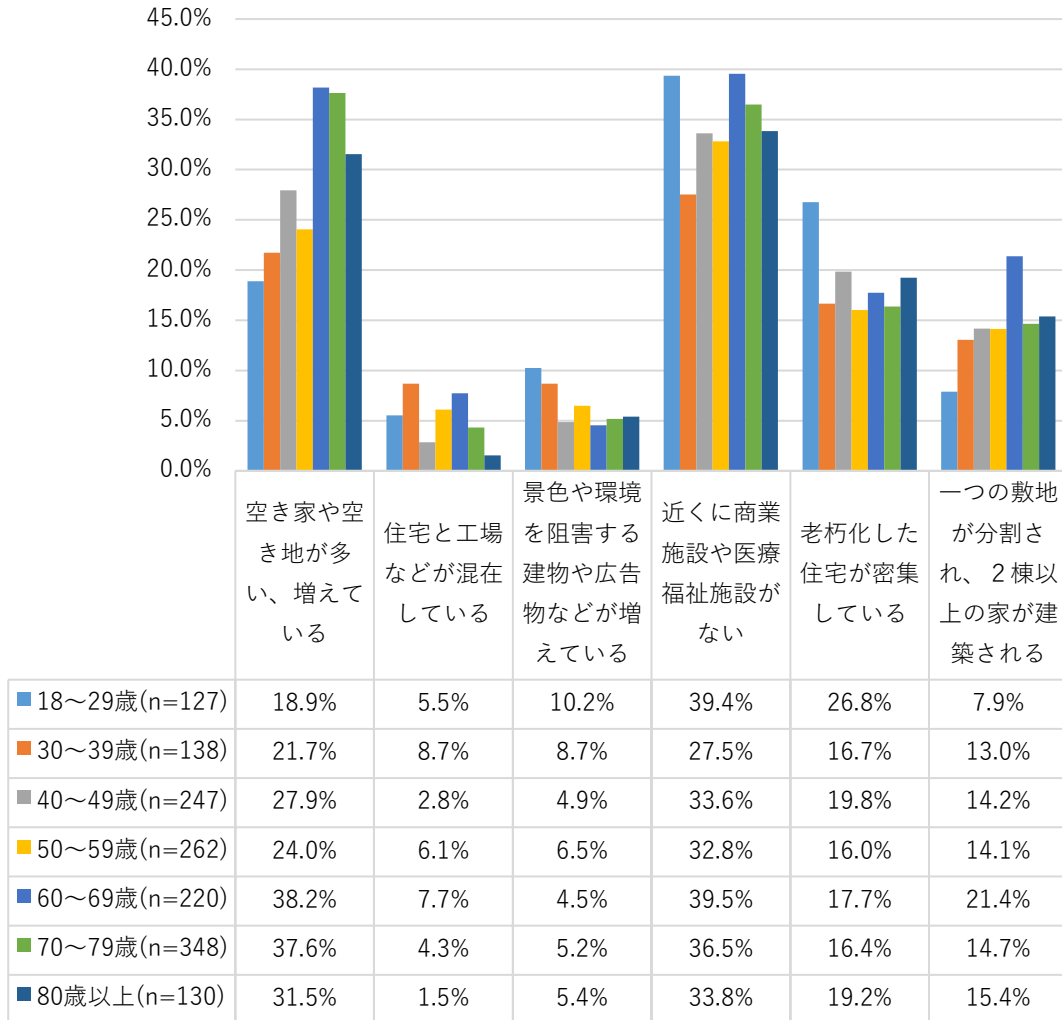


○「近くに商業施設や医療福祉施設がない」が35.0%と最も高く、次いで「わからない、該当しない」が33.7%、「空き家や空き地が多い、増えている」が30.0%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

土地利用・建物についての課題 年齢別

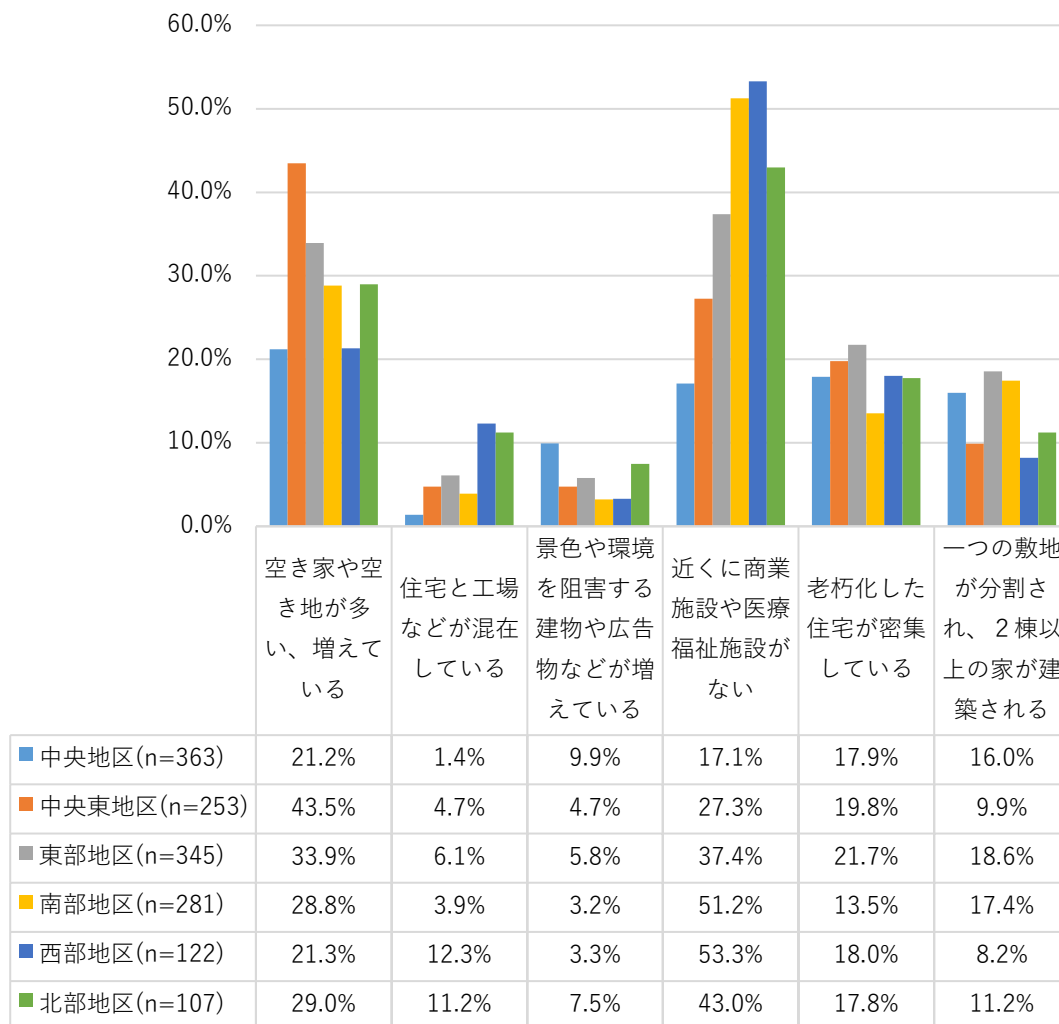


【年齢別】

- 全ての年代で「近くに商業施設や医療福祉施設がない」が高くなっています。
- 60代以上で「空き家や空き地が多い、増えている」が、10～20代で「老朽化した住宅が密集している」が高くなっています。

②地区別

土地利用・建物についての課題 地区別

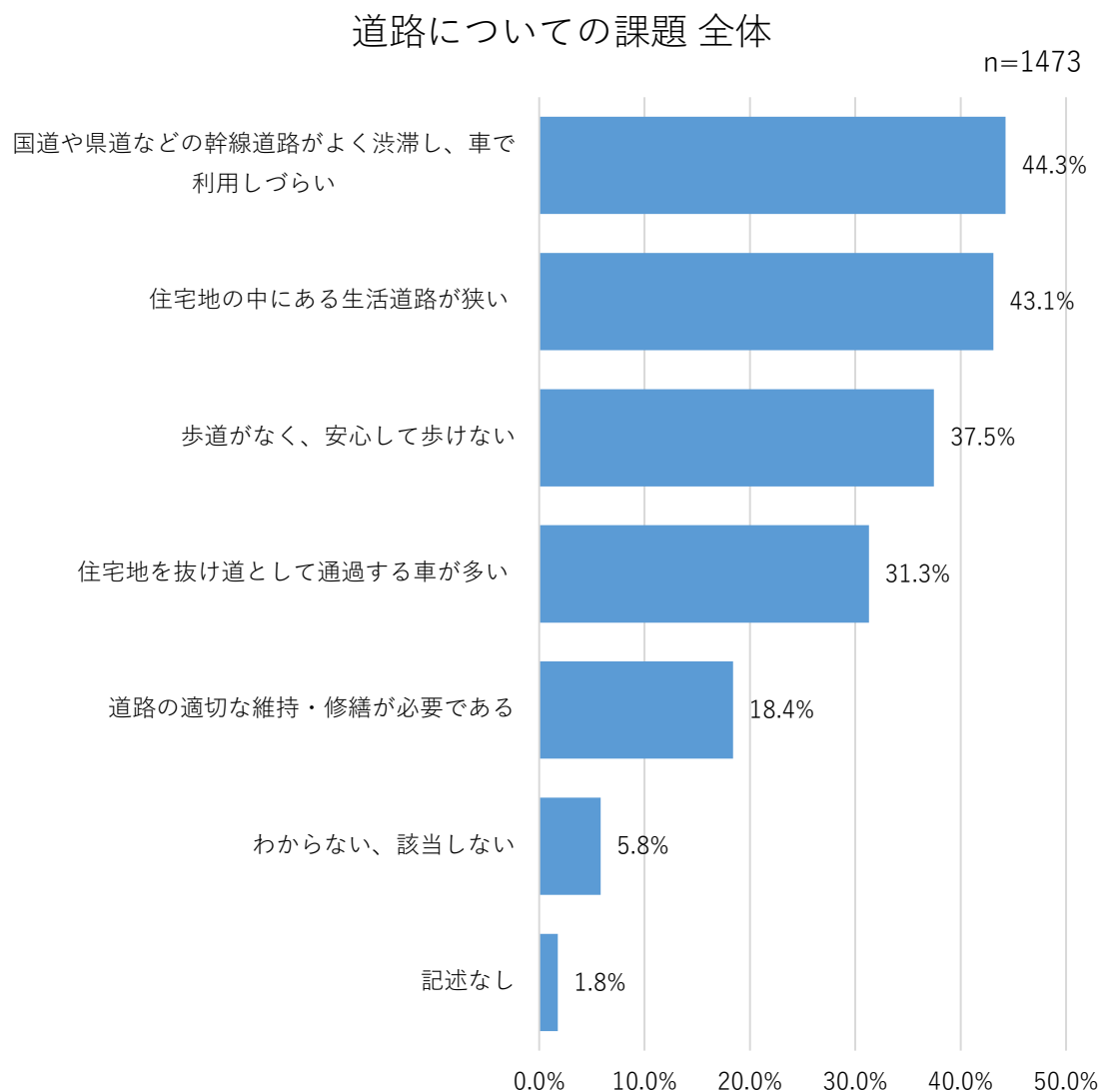


【地区別】

- 西部地区・南部地区・北部地区・東部地区で「近くに商業施設や医療福祉施設がない」が最も高くなっています。
- 中央東地区・中央地区で「空き家や空き地が多い、増えている」が最も高くなっています。

問 16. お住まいの地域の道路についての課題

(1) 全体の傾向

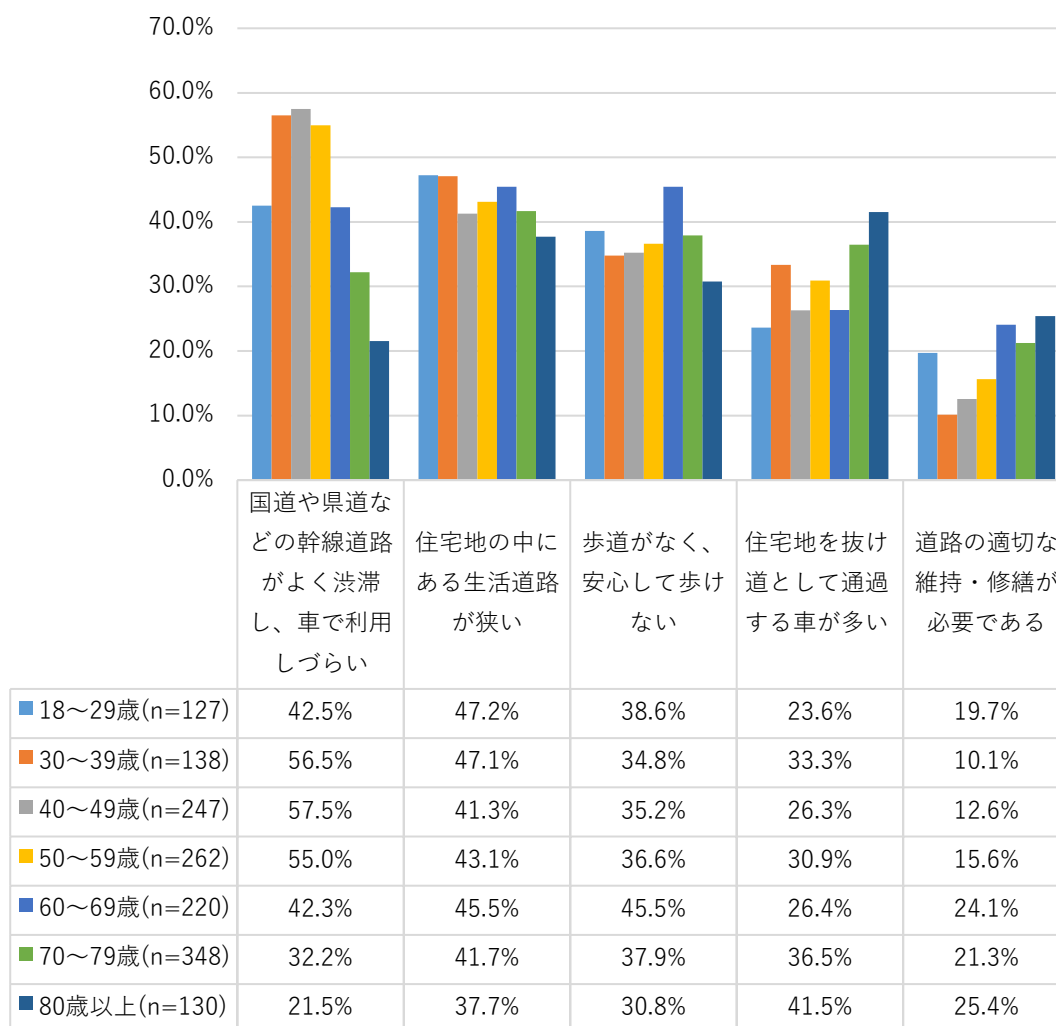


○「国道や県道などの幹線道路がよく渋滞し、車で利用しづらい」が44.3%で最も高く、次いで、「住宅地の中にある生活道路が狭い」が43.1%、「歩道がなく、安心して歩けない」が37.5%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

道路についての課題 年齢別

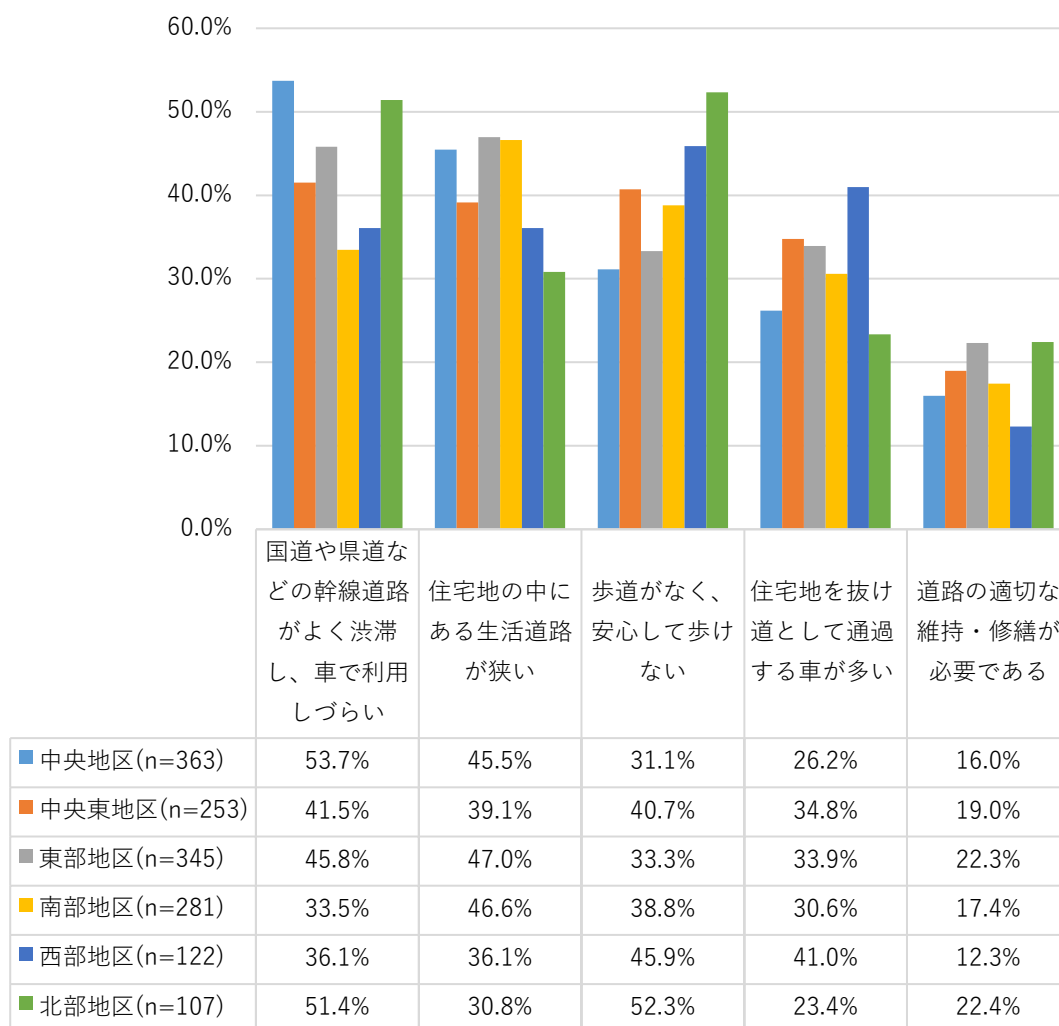


【年齢別】

○30～50代で「国道や県道などの幹線道路がよく渋滞し、車で利用しづらい」が最も高くなっています。

②地区別

道路についての課題 地区別

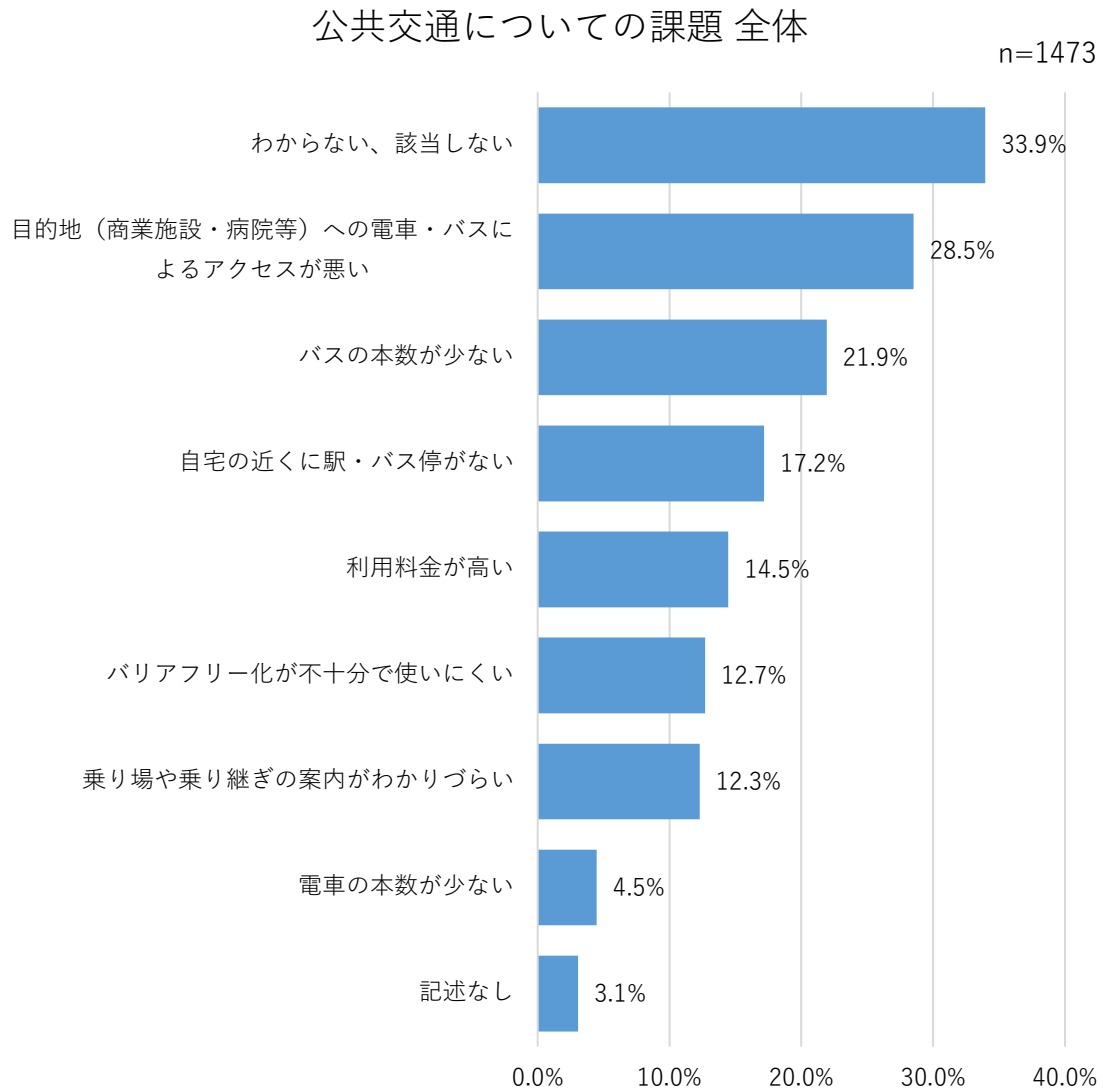


【地区別】

- 中央地区・中央東地区で「国道や県道などの幹線道路がよく渋滞し、車で利用しづらい」が最も高くなっています。
- 西部地区・北部地区では「歩道がなく、安心して歩けない」が最も高くなっています。
- 東部地区・南部地区で「住宅地の中にある生活道路が狭い」が最も高くなっています。

問 17. お住まいの地域の公共交通についての課題

(1) 全体の傾向

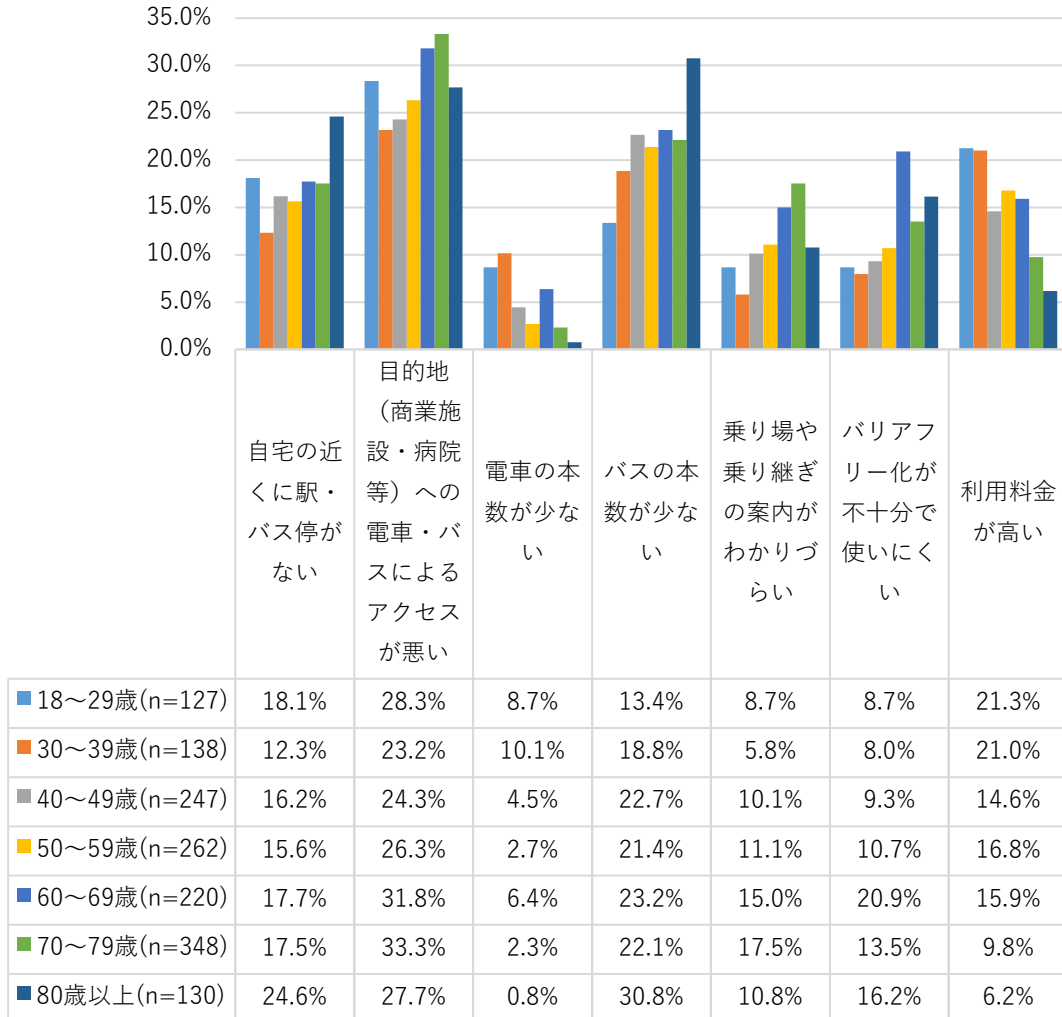


○「わからない、該当しない」が33.9%で最も高くなっています。「目的地（商業施設・病院等）への電車・バスによるアクセスが悪い」が28.5%、「バスの本数が少ない」が21.9%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

公共交通についての課題 年齢別



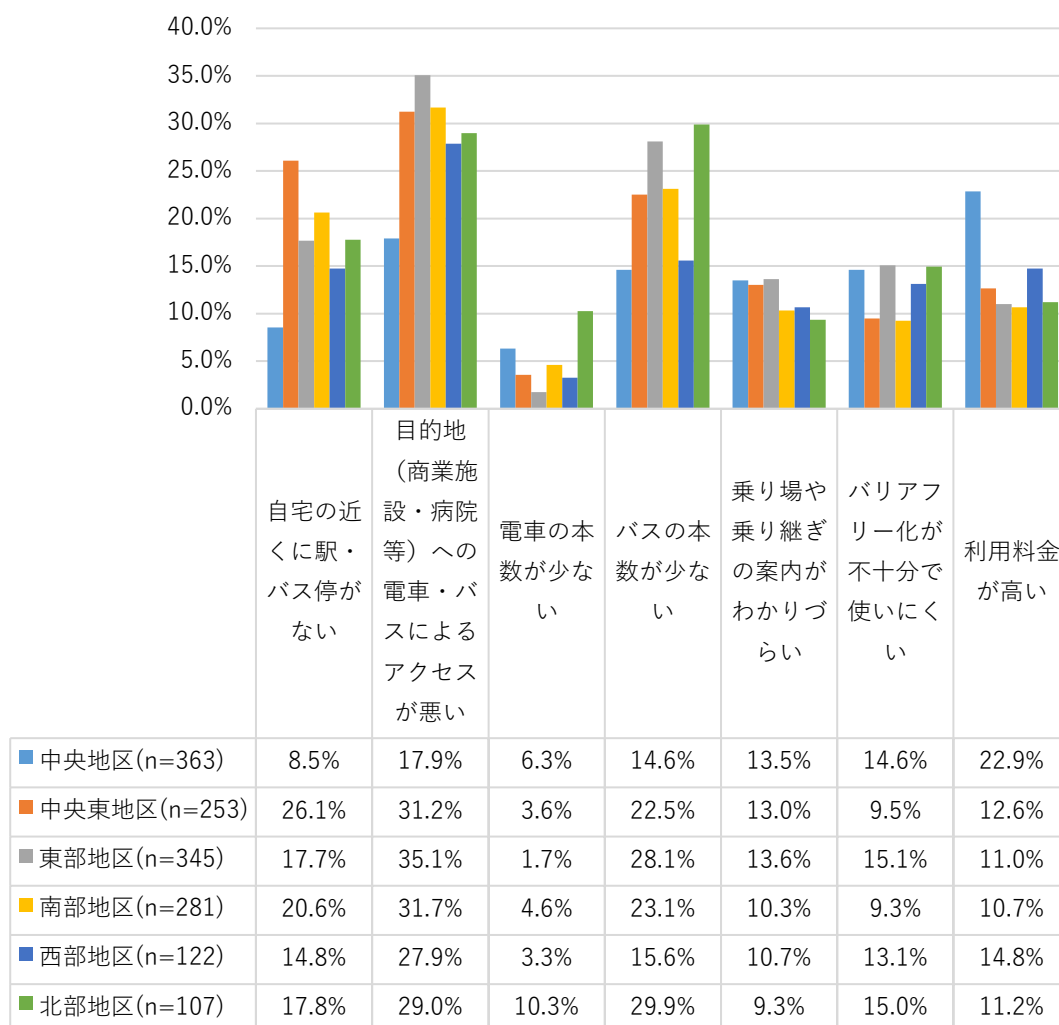
【年齢別】

○80代以下で「目的地（商業施設・病院等）への電車・バスによるアクセスが悪い」が最も高くなっています。

○80代以上で「バスの本数が少ない」が最も高くなっています。

②地区別

公共交通についての課題 地区別

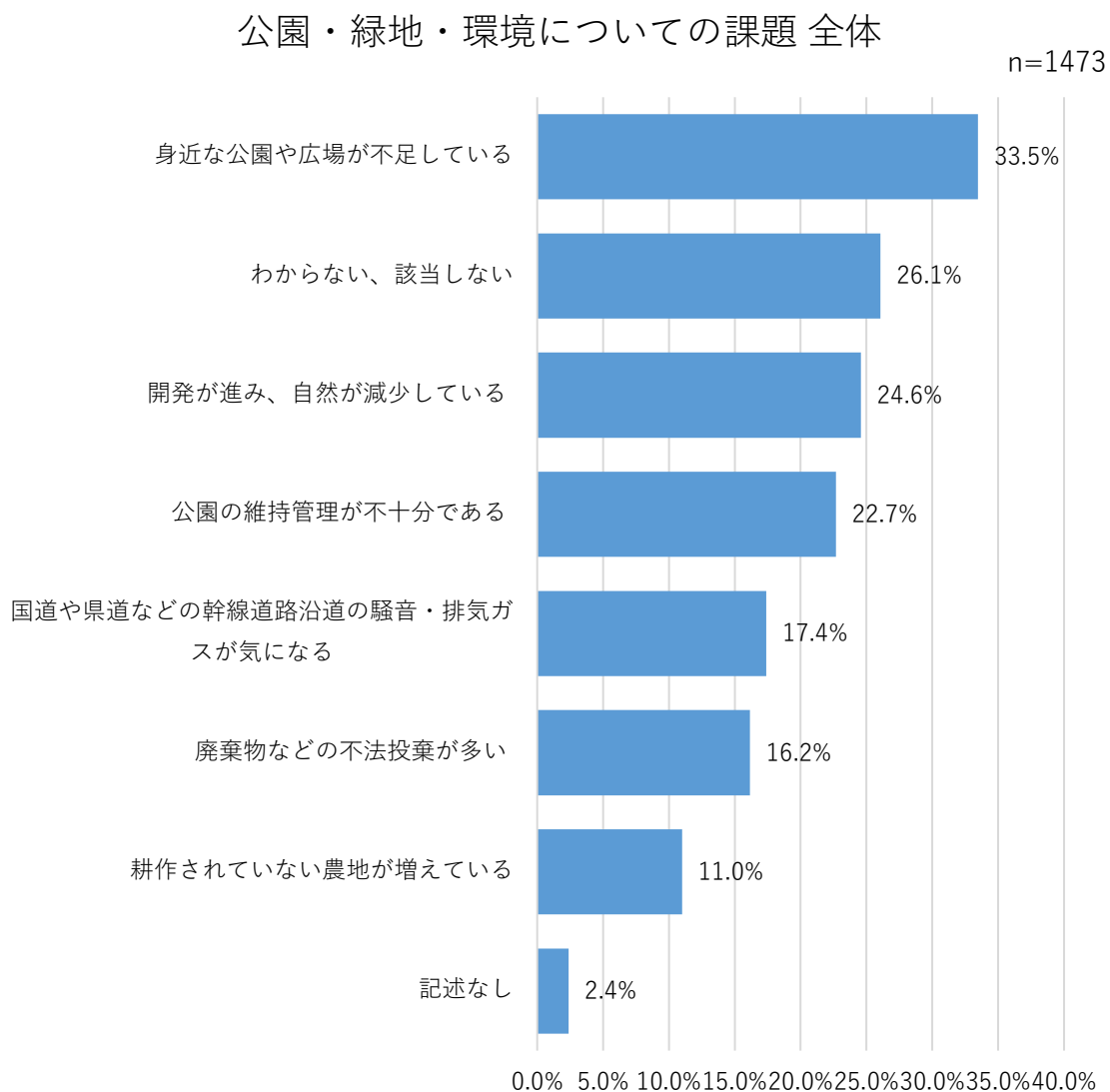


【地区別】

- 中央地区以外の地区で「目的地（商業施設・病院等）への電車・バスによるアクセスが悪い」が高くなっています。
- 中央地区では「利用料金が低い」が最も高くなっています。
- 北部地区では「バスの本数が少ない」が最も高くなっています。

問 18. お住まいの地域の公園・緑地・環境についての課題

(1) 全体の傾向

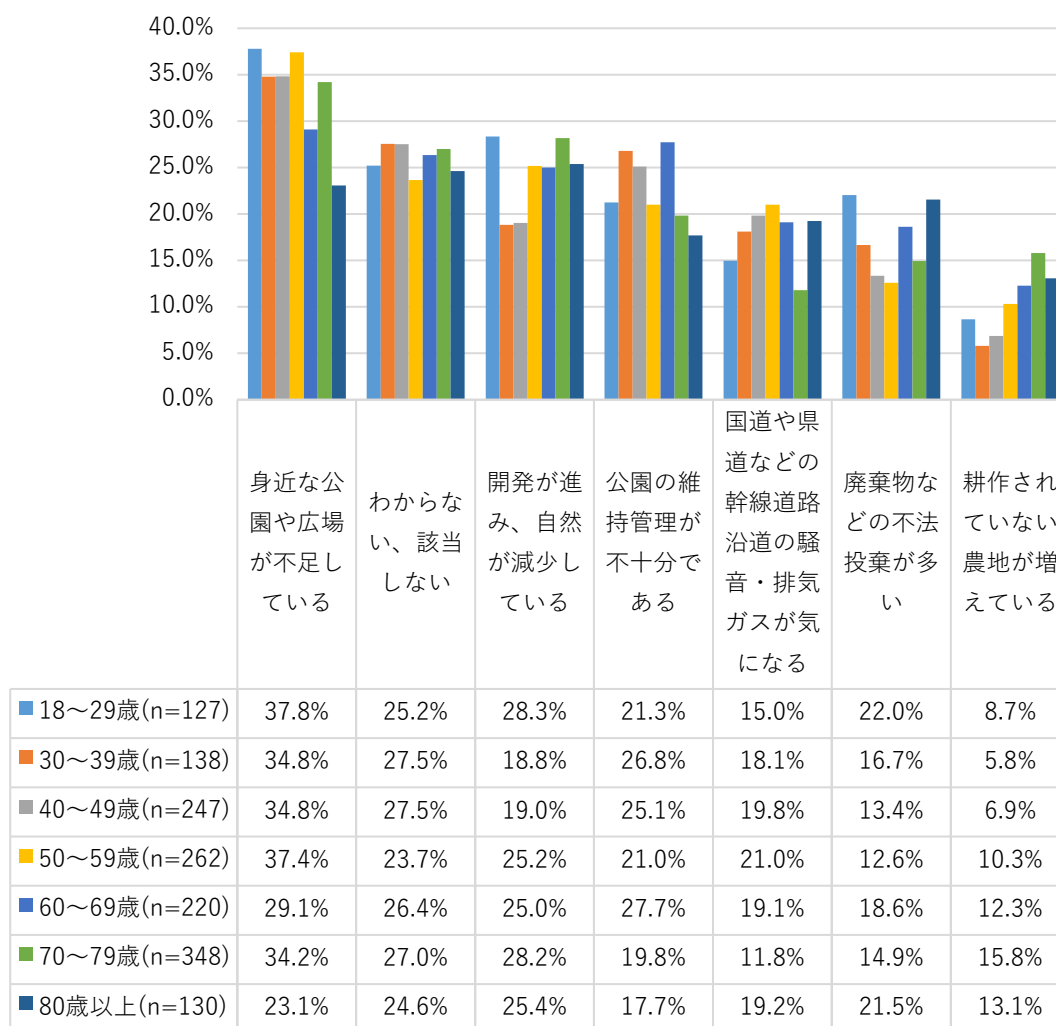


○「身近な公園や広場が不足している」が 33.5%と最も高く、次いで「わからない、該当しない」が 26.1%、「開発が進み、自然が減少している」が 24.6%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

公園・緑地・環境についての課題 年齢別



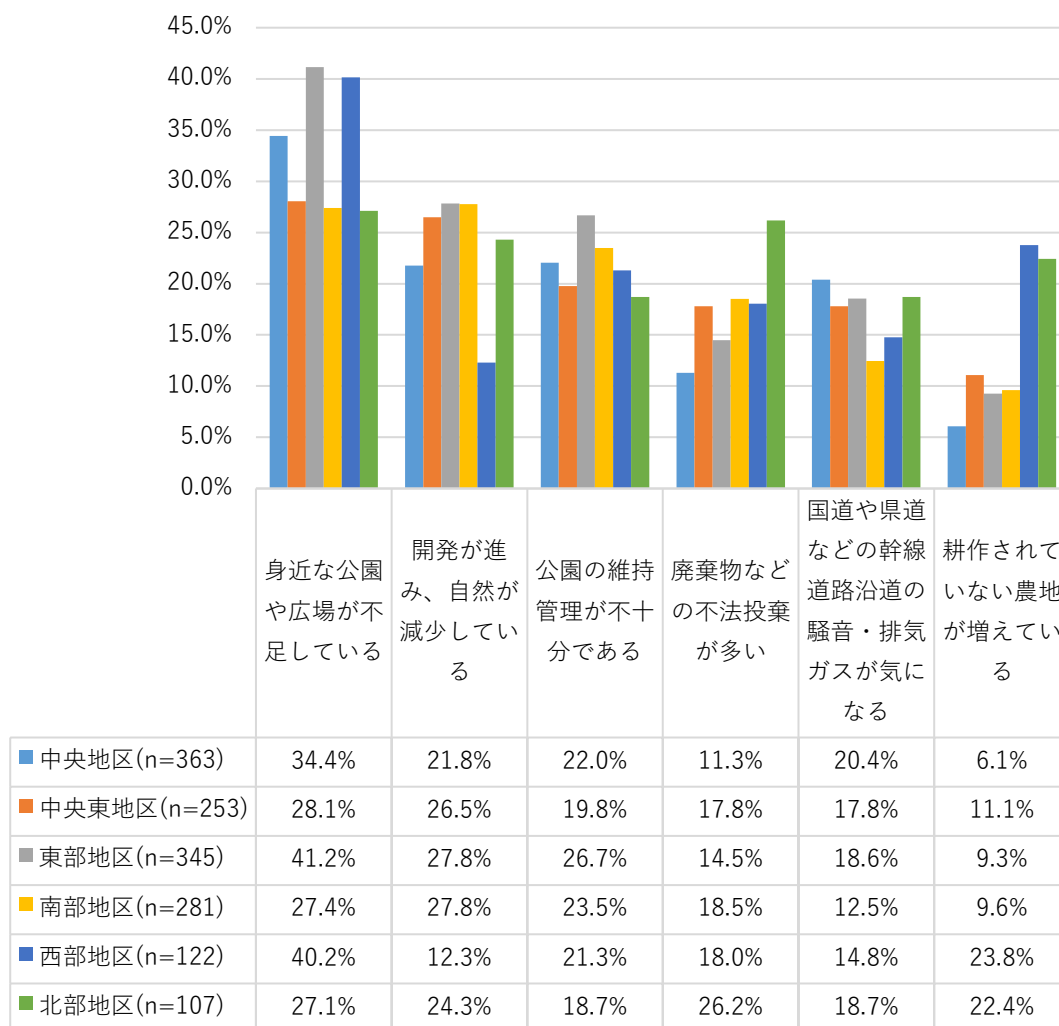
【年齢別】

○70代以下で「身近な公園や広場が不足している」が最も高くなっています。

○80代以上で「開発が進み、自然が減少している」が最も高くなっています。

②地区別

公園・緑地・環境についての課題 地区別

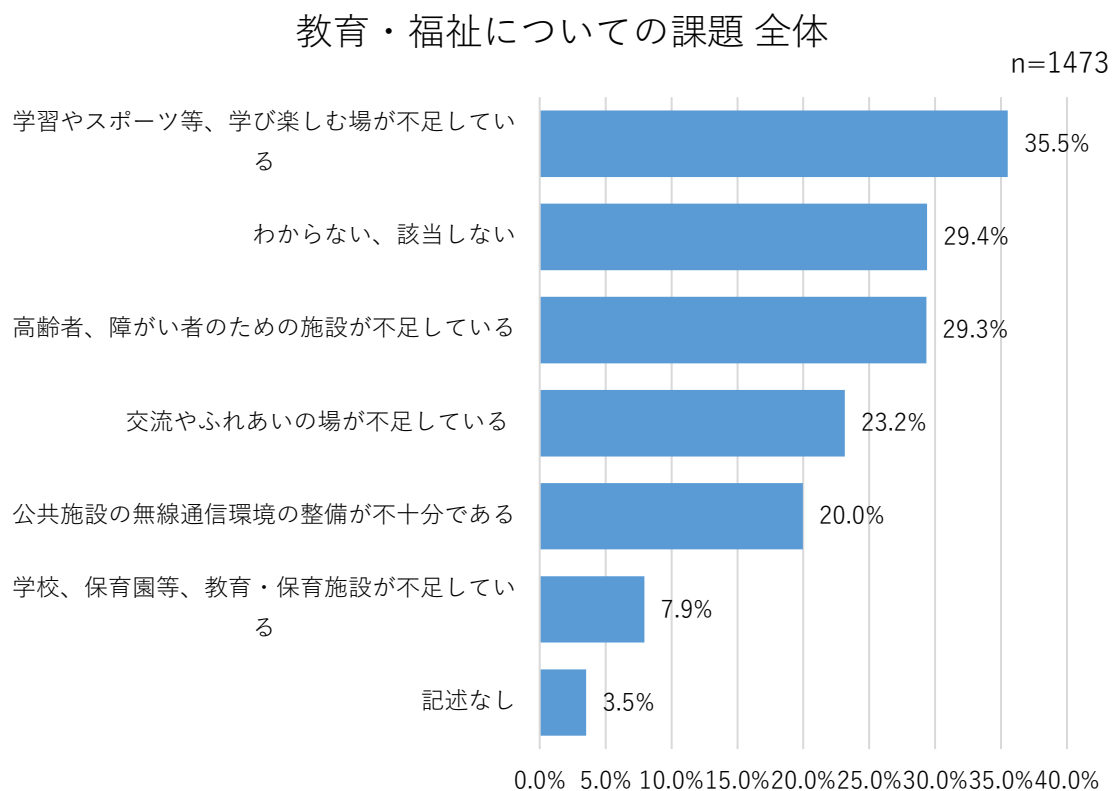


【地区別】

○全ての地区で「身近な公園や広場が不足している」が高くなっています。

問 19. お住まいの地域の教育・福祉のまちづくりについての課題

(1) 全体の傾向

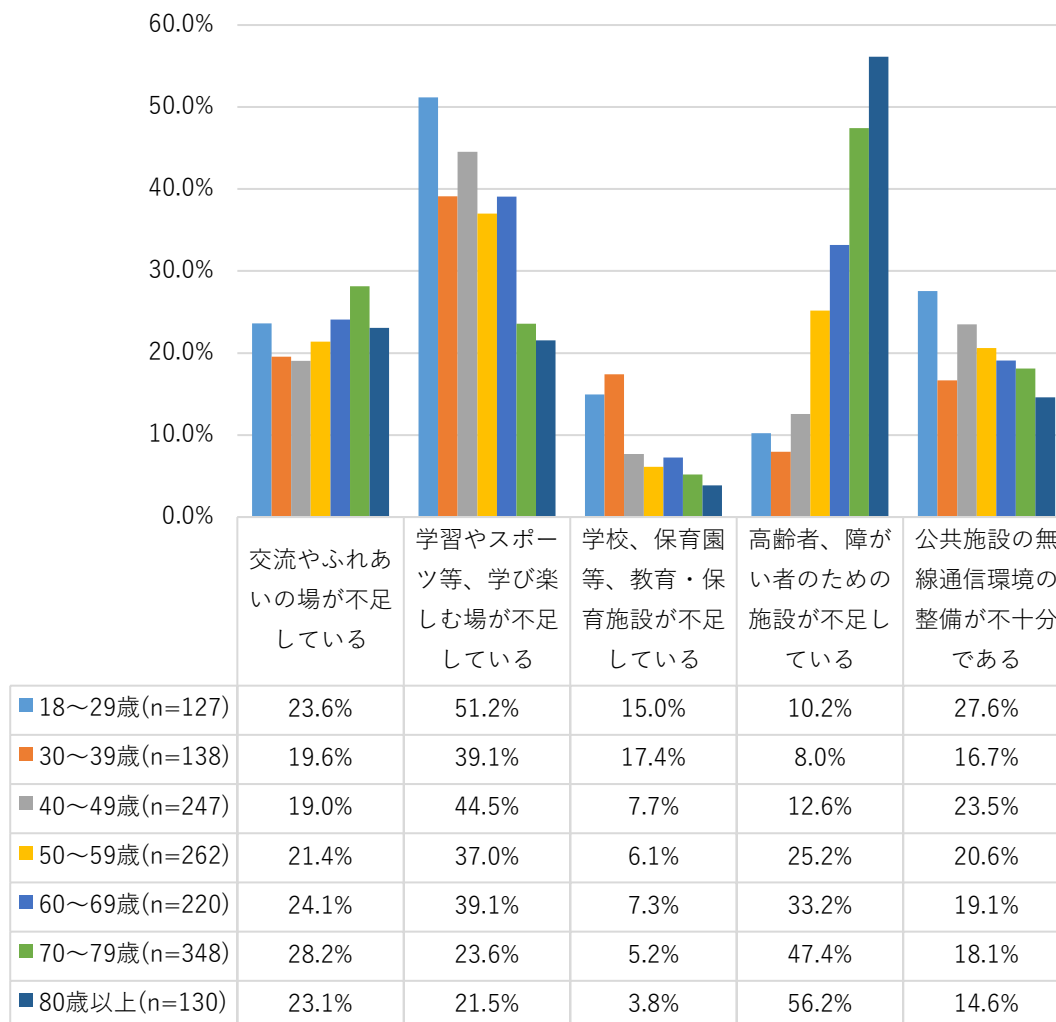


○「学習やスポーツ等、学び楽しむ場が不足している」が 35.5%と最も高く、「わからない、該当しない」が 29.4%、「高齢者、障がい者のための施設が不足している」が 29.3%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

教育・福祉についての課題 年齢別



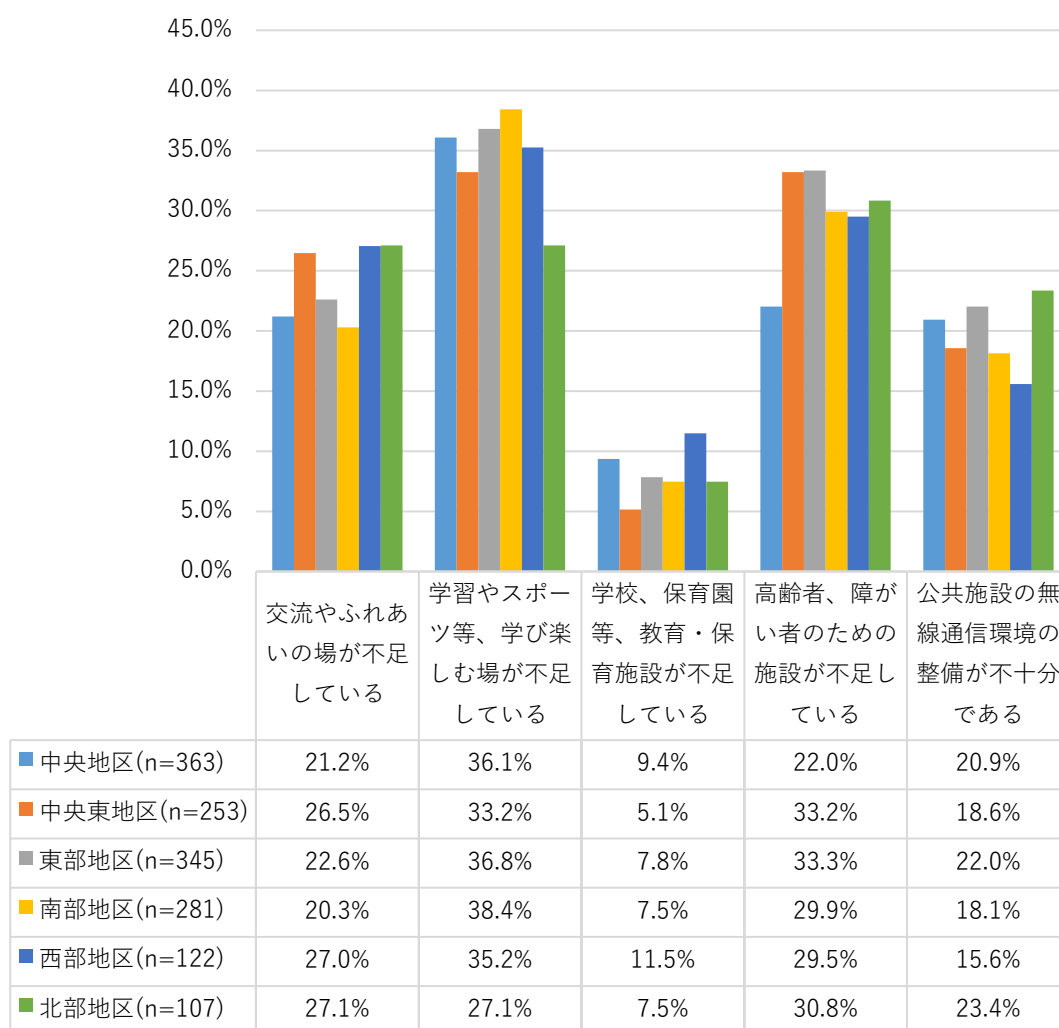
【年齢別】

○60代以下では「学習やスポーツ等、学び楽しむ場が不足している」が最も高くなっています。

○70代以上では「高齢者、障がい者のための施設が不足している」が最も高くなっています。

②地区別

教育・福祉についての課題 地区別

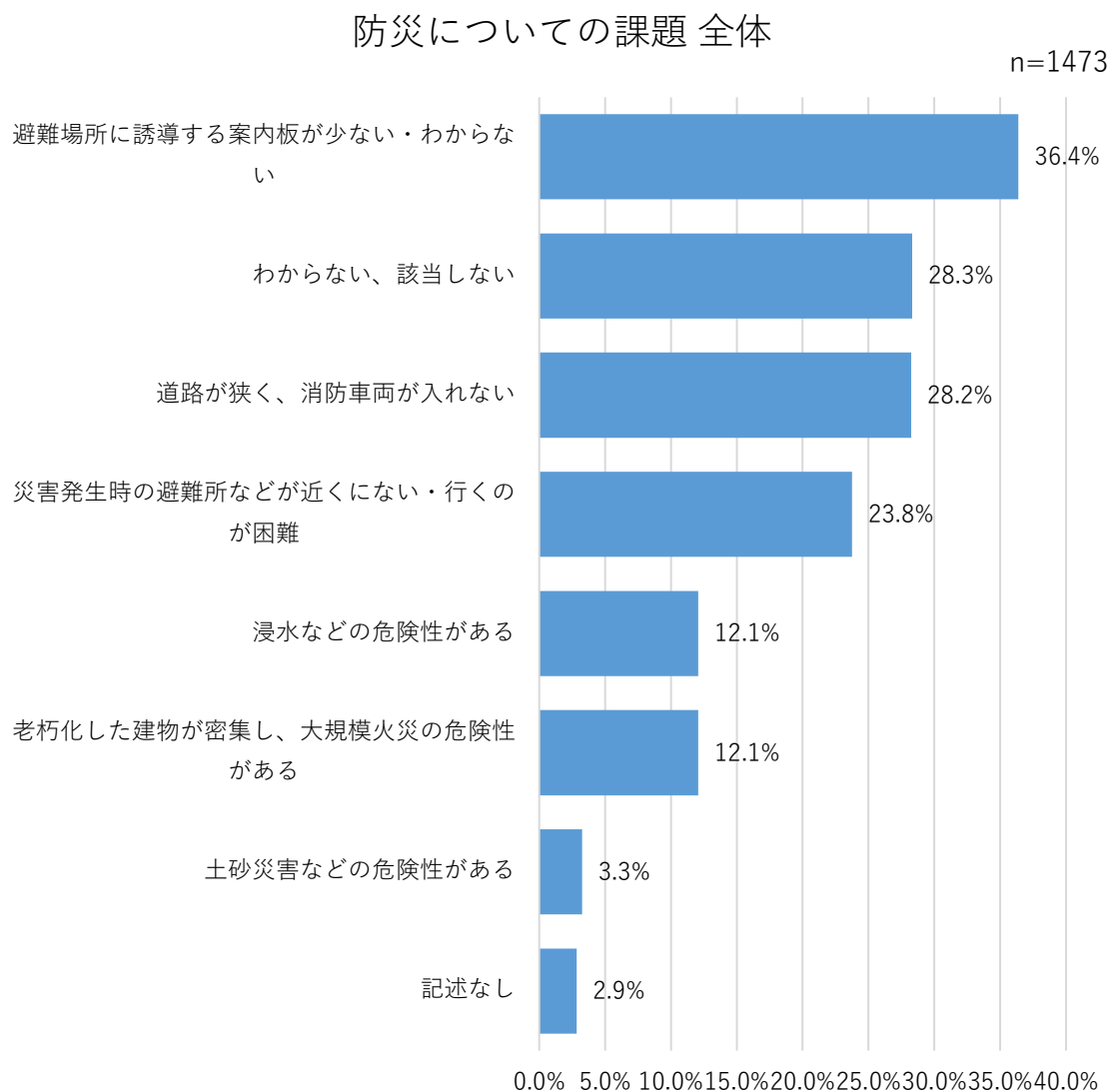


【地区別】

- 北部地区以外で「学習やスポーツ等、学び楽しむ場が不足している」が高くなっています。
- 中央地区以外で「高齢者、障がい者のための施設が不足している」が高くなっています。

問 20. お住まいの地域の防災についての課題

(1) 全体の傾向

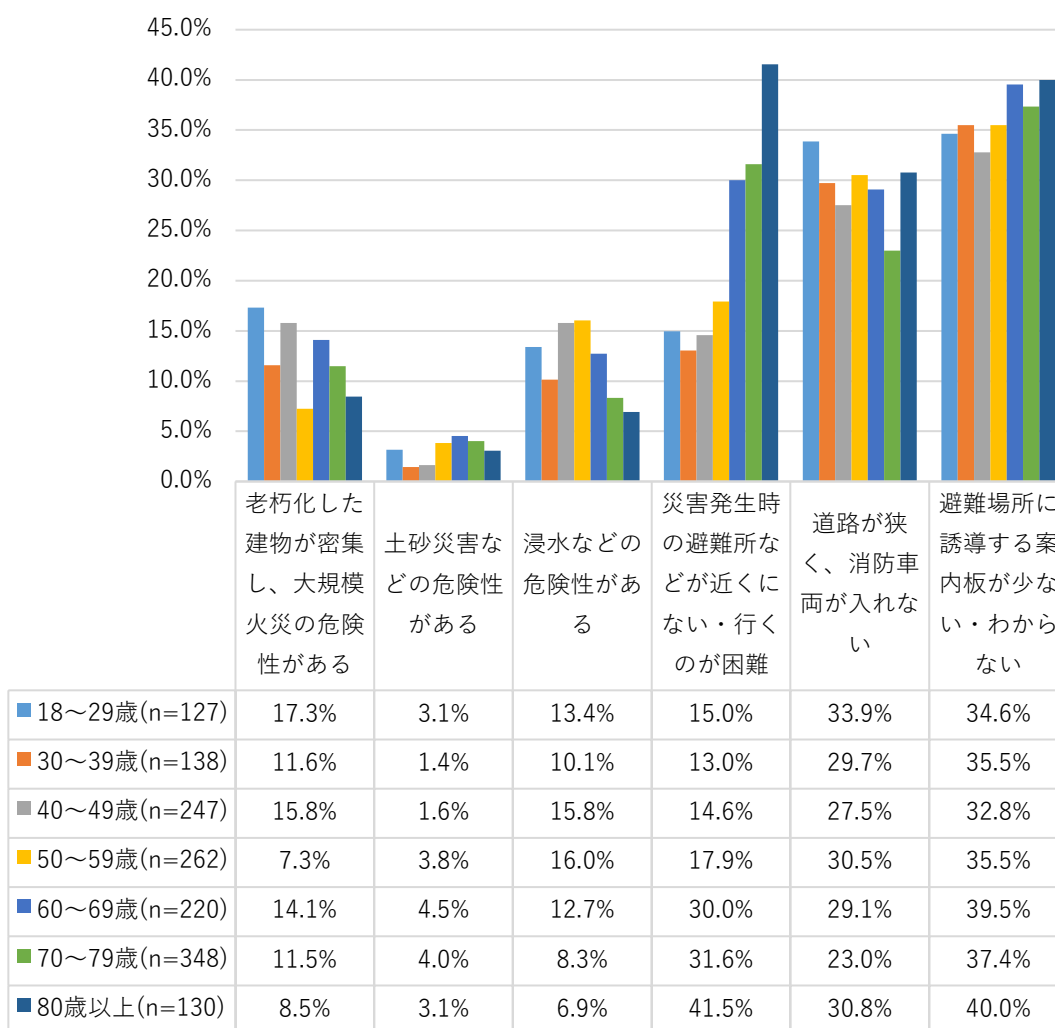


○「避難場所に誘導する案内板が少ない・わからない」が36.4%と最も高く、「わからない、該当しない」が28.3%、「道路が狭く、消防車両が入れない」が28.2%と続いています。

(2) 属性別の傾向

①年齢別

防災についての課題 年齢別

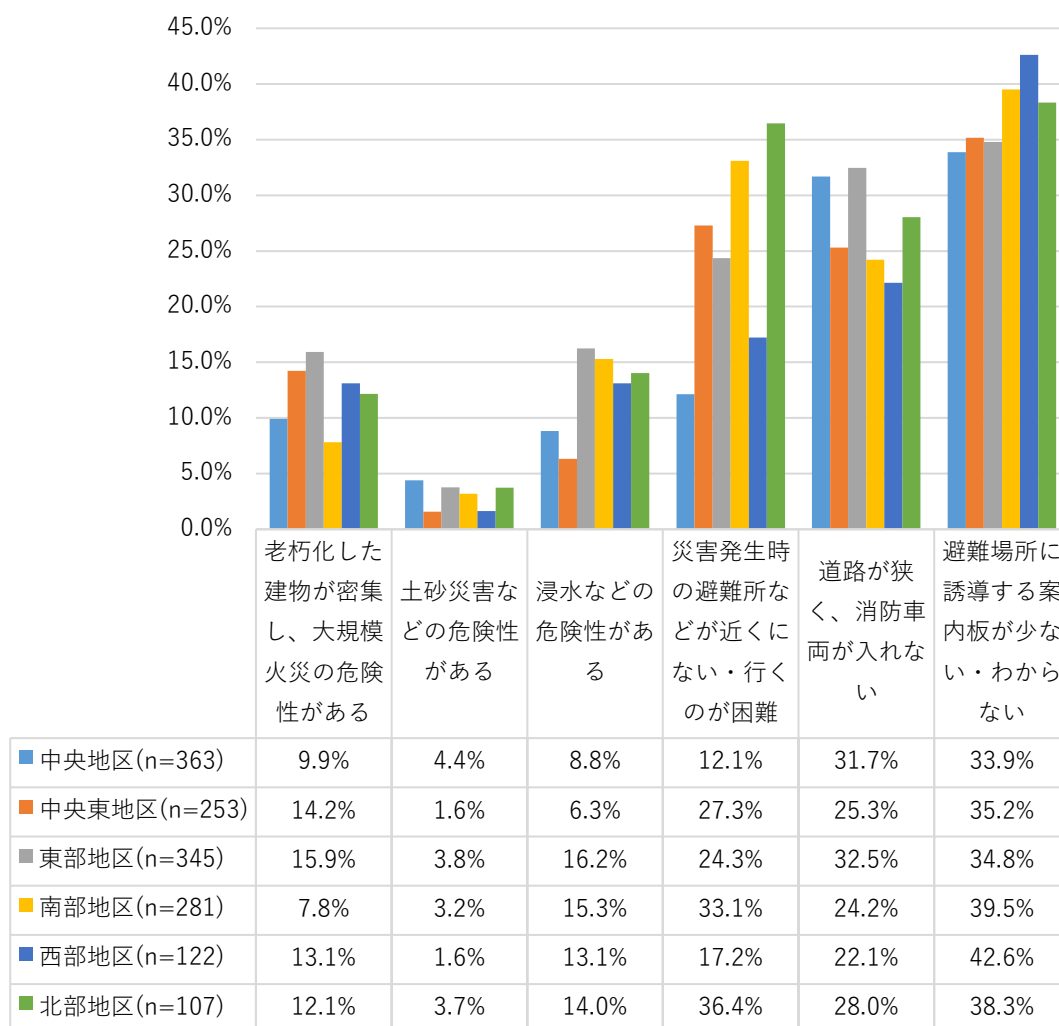


【年齢別】

- 全年代で「避難場所に誘導する案内板が少ない・わからない」が高くなっています。
- 80代以上では「災害発生時の避難所などが近くにない・行くのが困難」が最も高くなっています。

②地区別

防災についての課題 地区別



【地区別】

- 全地区で「避難場所に誘導する案内板が少ない・わからない」が最も高くなっています。
- 北部地区・南部地区・中央東地区で「災害発生時の避難所などが近くにない・行くのが困難」が高くなっています。
- 東部地区・中央地区で「道路が狭く、消防車両が入れない」が高くなっています。